見さしては 、治外法権撤軽に至るまでの辨 法にいれての主要都市に地方法院を ルピンの主要都市に地方法院を の主要都市に地方法院を

法院に統 制を存績 現を存績

理想案と

され、在滿法曹。

務局に左の職員

受け直に市役所へ向った

華府條約の安東通告は、正に園碁で天元にピシリ!さ打ち下す一手

春ないこ願ぎたてて見たが、しかし ・一流の手管を、悪さなければなら ないこの場に引留めて、彼女も がなければならない原確覧受業

か歴ばなかつたであらう。

しかし、野山は、やり切れない

一人は並んで、銀座を新橋の

吉野總務課長等の出述へた 陸後御影池民政署長、岡野

ロンドン操作書間の序幕、日英リ の形がでぶか風ない。

でごうしても、もう少し親くなつて、 しいのです。いづれまた、ゆつく いのです。いづれまた、ゆつく いのです。いづれまた、ゆつく いっぱいのです。いづれまた、ゆつく いっぱいのです。

じ席で紹介されて知り合つた仲間

あなた

金なんかお渡しになったの?

蛇角

なめた。 見渡して

見渡らて、さら如木なく、腰なかり上機嫌になつてゐる娘たちな美味い酒や、豐富な睡で、すつ

「何て顔かなさる

呼ぶか、世界の視聴は弦にの

海軍聯令(二十二日附)

におけるそ

海軍大佐 志摩 清英

はれるかの問題は発満法曹黙で注。 してゐる、目下のこころ命令監 は全権大使の手に握られるに

監督統制問

至滿法曹界で重大視

要なく現 行制 度の維持を可さ必然であつて、今速に改革の必必然であつて、今速に改革の必必然に改革の必要に改革の必要に改革の必要に改革の必要に対している。

の他関係各間

州大連市長は二十三郎と派師で折断のため上京

たが、いま喋々するここは面白たが、いま喋々するここは面白についても土産は澤山持つてきについず、機構問題が出來るやう雰蘭氣は十二分

開し中央の要路そ

▲ 限部額氏 (関東嶼警部) 同上 金給木正彦氏 (同) 同上 本林隆之氏 (小野田セメント販賣 部主任) 同上

小川大連市長歸任談

丸で歸連、左の如く

法院と領事裁判

るべく速かに行はんことを希望して述べて日本側との公式會見を成

二十五日に行はれる模様でで逃べた、右の結果第一を

檢察官の監督權

球友 留せしめて が乗のため

▲楊井勇三氏(正隆銀行常務)同

氏へ遼東ホテル支配人

大使直屬を希望

警務部長には反對論

結局當分は

新機構の實施後

石甫氏(寬城子商務會長)同買課長)同上

淺吉氏(奉天關東倉庫長) **学之助氏(大連市長)二十**

市政を擴充

現狀維持

に治外法権が撤職されることが既 館館の反對あること、近き粉來

移総小はこの方面に ・ 法権数

側の挨拶に次いで帝國代表松平大

差等比率主義の撤

て地方法

表急速會見希

次會談は一

H

協定眼目は

▲小關良平氏(住友製鋼所取締役) 同上速東ホテル投宿 同上速東ホテル投宿

て來連ヤマトホテルに投宿十三日午前七時四十分着列車

政策と地盤協定

一、攻撃的武器の制限 を懸告するであった 撃的武器の制限 を懸告するであ

不侵略の一一、比

比率主義維持



行發日三十二月十 界 水 鈴 人行賽 治代喜 本橋 人帽編 盛武 村 本 人刷印 地番一冊如園公東市連大 社報日洲滿 社會式株所行賽

有光商店 防寒草履

誠 念

判任作 代表語る 関し関東際判任官代表

行の閣議決定により

寺田署長署員

地の實情を政府要路に命ば在滿機構改革問題

に披藤した、勿論書々は一十分に亘り最早新機構に順應する ・ 大変主張し、其の信念 一八時より金職員を講堂に集め約四と主張すべき處は最も強 一等田大連警察署長は二十三日午前の地の實情はありのま、 等田大連警察署長は二十三日午前

に至つたことは非常に残削を認識して居りながら間を認識して居りながらいりながらいませんがいる。

長さら會見することになった機嫌だが、その後西尾、陽村正副参謀 四時半観列車になる見込みであるで、降低期も遅れて二十三日午後

に實質問題を討議

軍縮會商愈よけ

ふ開始

署員を慰留 高山新京署長

器識堂に公署以か集合、署長倉職と三日午前七時額列車で輸任面に同日の一三日午前七時額列車で輸任面に同日の一番京署長は二十の

して飛び

の無持さへ、 に現はれたのだ。 た、較べて見たに違ひない 飾つたが、椅子へは坐らなかつ野山は、もさのテーブルの鰻に まく と離き、感謝 の魔から排魚逃れ出したと思った。 あらはに若々しい離 ら、淫らで牙の鋭い肉食歌が早

三局長けふ更に 正副參謀長會見 午後四時新京發歸任

長に要求するここに決定した響議一決金署員の齢表進達方を署

国はれの帯牟郷士は、何様かの紙 そして二人は、青いスクリーン 宮子の肩に手を襲れた。

同国は、今夜のかいりと紙幣の敷されのである。宮子は、遠慮なく、そのである。宮子は、遠慮なく、そのとげない。 この場の聴定をすますため 総の散歩服を着た、百合子が

とて飛び上らうさした。恰もがらより添つて彼の右腕な、つわ

「無遠慮に、またざんなにもつこ野山は、この娘たちが、ざんな 銀座の人々へその六つ

首にまきつかうさしてゐた。 も、機まず 深く吸い込んだであらうが、 ープ仕立の黒さ鼠のだ にはおかないやう

三上於蒐吉 な青春 二郎畫 (21)

恐らく野山は、 銀座の夜氣な

ない。海上、眼暈がする。こんな状 る、ボンヤリして、何事も考べられ 頭がガンガン痛む、クシャクシャす から、貴方を救ふものはただ テーリン 頭がガンガンしちゃあ *~駄目、駄目* 絶對に駄目!! 價 定 五貳五廿 十 圓圓銭銭

舖 中村信治商店

代理店 玉置合名會社東京日本橋區本町一丁目

REGAL

美摩ミ節廻し 戦明はつい 世 管証策もう一度(マハッ)管統業職夫日吉丸三段目豊竹呂之助 河內 山宗俊(ない) 伍東安 多 (編田 映画) 泉

湯もみ唄 見路る

だってあんまりひらいわよ

奏バラの様なお嬢さんな双頭の鷲の行進曲 佐野次郎左衛門 金井小

合和 奏养 五連

コロムドが大衆盤 1年は 機 アジア

東京二十三日登園通』在満機器

のさ見られる

最後決定までに多少の曲折あるも試案で各省で相當実論もあるので

制局

對滿事務局官制

の中より内閣においてことの奏請により関係各職を表した、参東は内閣の表請により関係各職

南滿事務局官制 洲國大使館に南滿事

官制改正

が虚理し部下で、警務郎長、

拓務順は専任〇名に改

る観客諸氏大連入藩康定のうすりい丸の重な

題の定縁戦線美振あり。

[門司特爾二十三日發] 二十五日

うすりい丸船客

新布石法さん

見れば見らる人の

てあるのでせうし

然ういへば帝國海軍の新軍縮方

ないさ願ぎたてて見たが、しかした選げるやうに、明るく灯の難くないさ願ぎたてて見たが、しかした選げるやうに、明るく灯の難くないではない。彼

には職が想まれてゐた。

海事務局

中佐中子總一、滿線中央化學所展「湘晨雄、鐵路樓局員西川所長川湘晨雄、鐵路樓局員西川東大教授三浦伊八郎、滿家研究

耐も無事な陶田内閣のやうに。 に命拾ひ、機構問題で繁健な落 助車の乗客運輸手

名意製作



さばかりしてゐるんですわっ

●・… 國職を継続する艦艇整西 十七日までの三日間に取り、本社 さいなつた 本社では現代支那の美術駅を 本連を迎へて来る二十五日より二 本社三階縁堂において開催するこれがでは現代支那の美術駅を 本連を迎へて来る二十五日より二 本社三階縁堂において開催するこ

日滿支を結ぶ藝術交驩

東 主アドルフ・ルーテ氏が全轄大連 主アドルフ・ルーテ氏が全轄大連 主アドルフ・ルーテ氏が全轄大連 主アドルフ・ルーテ氏が全轄大連 主アドルフ・ルーテ氏が全轄大連 を出業の計へ出版。

現代支那美術界の最高峰たる

西湖冷畫社書畫傑作巡回展

大連市へ時間四百組のドイツ製工 た連市へ時間四百組のドイツ製工 た時間約四十を常附したいさいふ は時間約四十と常附したいさいふ だがこの申し出には様件がつい てゐるので「それは誠に結構書 ただが、ル氏の申出ではます」さいふ ちツバリした返事は出なかつた のだが、ル氏の申出でさいふのたが、ル氏の申出でさいふのだが、ル氏の申出でさいふのたが、ル氏の申出でさいふのだが、ル氏の申出では、

さは、この在郷軍人分

リ東京芝公園内思路コートに於い 軍は来る十一月三、四の附日に追 では来る十一月三、四の附日に追

工場送別排球

早慶戰應援

軍縮、會議

宛ら武裝解除の協定

動車逆だ

丈あまり

日

大連は鑑道部巻で無い急診乗係に二十五十春度には、新京は鑑道事務所繁操に二十五十春度に、新京は鑑道事務所繁盛に十五十五十年度には、新京は鑑道事務所繁治。

は十一度にまで急に低下し新ながら書間は二十度近くの暖から幾分整くなり正午の温度から幾分整くなり正午の温度をから幾分を表すりである。

大連は魔道部響き繋が急致来像に大連は魔道部響を開い、戦撃を追載し

奉天教単は同日一三時四二分、 新泉着一七時二〇分、第三區間 は新泉春天間で二十九日八時四 〇分新泉教、十二時一八分奉天 着である

南に迫る冬の跫音

第一品間は奉天新泉間で

パーナイフ) を贈ることにな

『奉天電話』奉天に於ける秋季指 奉天の招魂祭 機脈車に搭乗その性能を試す所あ 製は自り職工服をよさつて流線整 製は自り職工服をよさつて流線整

立看

板の代を

はぬ易者南嶽

悬走列重

歸還の途につく

路大連へ

・ でスターに、定刻祭典委員長 で、アターに、定刻祭典委員長 で、アクーに、定刻祭典委員長 で、アクーに、定刻祭典委員長 で、アクーに、定刻祭典委員長

農村援助 給五分を半年間 で醵

さらに全社會層に呼びかけ 國民の協力を求む

『新京電話』 濃緑色の環丸卵車のどのは十二日朝大連を養し秋端のとれに突走りその経特である。

个性下の範囲たる嵐の範囲鑑り間がの機械時に製有間整解港に乗り出したことは今後の範囲の動館を物識をものことで注目される
を育に呼びかけること、なつた、この氣運は早晩各省に波及表面化する咳嗽で競更が離婚依然たる寒寒寒治に飽き起ら
変態対機能に乗り出すこと、なりが窮乏農村を救ふため國民は協力せよべのスローガンを各様は残論的らゆる社なさ狀態に辿つてゐる揺械、內務省全高等官は自發的に半年間俸給の五分離出積立て斷行を明合は郷太郎、政策に進づてゐる揺械、內務省全高等官は自發的に半年間俸給の五分離出積立て斷行を明合は郷太郎、東京特電二十三日發』終乏に喘く影成は今やざん底に吹きつけられ、寒暖期を擦べて農民の額には生色さへ見、東京特電二十三日發』終乏に喘く影成は今やざん底に吹きつけられ、寒暖期を擦べて農民の額には生色さへ見、東京特電二十三日發』終乏に喘く影成は今やざん底に吹きつけられ、寒暖期を擦べて農民の額には生色さへ見

あるの試乘運轉に ハも無賃で乗せる

日の公武運輸で完全なる成功な場合を表現の設立で完全の如く数ます。

こ時三七分拳天着これのようになった。これで二十八日八時五○分数里、一で二十八日八時五○分数里、一

日 帰り 往復する人の為 日の乗車券は記念のため試示者 でもよく締路も急行料以外は登 はさに搭載することになる ははに関機申込みと小兒の乗車は なに関機申込みと小兒の乗車は はらに終載することになる

た良くして待つてある た良くして待つてある た良くして待つてある

上書島、佐世保を経てす一月九日・一般の本館、二十六、七曜日碇市の一年ではの 機須賀へ蹄着する曲 旅順に來航特務艦青島

し、喫茶店

東店の打撃は目に除るも を受けたカフエー、バ を受けたカフエー、バ

オン街線出

學生

締出して

カ

フェー街恐慌

日数両通り学生のネ

今夜か明朝までに冷雨襲ふ? 新京は朝から雪 ら寒さばだいぶ南にまで るでせう、午前十一時まで のでころでは峰雪地帯は右 のやうですが、それ以南は 順次雨さなり次いで雪に襲 をかも知れず繁日附近にま せん、大連には今夜か明朝 までに冷雨がやつて來るか も知れず、まだ雪にはなら なっせうが鬼に角寒くはなら るでせうなア

が成立たでの之等管果

リ無味にありさいふのだから リ無味にありさいふのだから いよく 南浦も冬らしくなつ

無事の診臓をうけまツさ一安心したがそれでも氣になる機に かつこちるさ同時にガンさ頭を 車體にぶつつけ一時はボーさしましたが機に異状のないさのこ さでなんました、あまり之が 大きく擴がらなければ良いさ思 つて居ります、病中の夫が心配 なざして體にさばることがあれ はざして性にさばることがあれ はざしました。あまり之が

經過時間五二時三八分

十二時間三十八分で薬。 ールビル指して飛びまつた アンホール出鉄以来の 洲の空をメルボルンの一歩前シャ 洲への一番乗りに成功。 地地方時午後十一時五分月明の総段のボートダーウイン のであつたが直に修理に養手、密 ルこ攻撃を生じ辛うじて着陸した。 一時間五十八分を三分の二と短 十一時間五十八分を三分の二と短 のである。

て全く技術未熟の為さ見られる 情事故を起こた運轉手は免狀を 情事故を起こた運轉手は免狀を でなってならず常時の事情より見

有難いが

時計四十の

寄附申込み

一番乗り

空前の記錄樹立 総連絡飛行に空前の新記録を構立。激間九千百四十八哩を郵破して英

染織名華展

割烹

復計可するさいないというという 常に尖端的な廣告戦術さして檀々 中は廣告が迷恋し取拾しかれる結 天気予報

北の風曇驟雨模様 チリ料理

はしないかご憂慮しまわ

下

お立寄の程を! 味覺の殿堂へ是非 築かれた 電話二十〇八番 トモノはんば大見切市一回岩倉獨特のケタハ お買物日ササササの五六七八日日日日日 回の岩倉職特 安い!

るが、過日 方不明さな つてゐた明 馬淵 羽田出發 大連二乗町とロミ和 は今夏奉天に來たま、行 は今夏奉天に來たま、行 は今夏奉天に來たま、行 は今夏奉天に來たま、行 は今夏奉天に來たま、行 は今夏奉天に來たま、行 は今夏奉天に來たま、行 は今夏奉天に來たま、行 は今夏奉天に來たま、行 は、大連ご運輸鑑定を行 は、大連ご運輸鑑定を行 嬢あす を支拂つたのみで率 ・エム・ヘンパ デン國冷艦シャントン院 火夫エス 地頭三番バースに繋留中のスエー

一戦たる満洲中等學校選手權大會

中等學校蹴球

州內豫選

5.

浪華洋行気

年ね

回日

0

ラ

旅浦飛行について同戦 菊號を追うて (土) 日七十二 (火) 日三十二 (用) 日八十二 (水) 日四十二 月十 催 (用) 日九十二 (水) 日五十二 月十 催 (延順天雨) 始開時十前午 日 (延順天雨) 始開時十前午 日 場 兵 練 軍 毅 於 (券場入付品景) 種二の間一金 券票投馬勝 (引割スパ電流・車汽復往間順版連大) 分より大連運動場に於て下

乗のもこに一路大連に向つて帰還 其他の餘豐が盛大に催された日午後八時四十分在京記者團の試 午後は引続き創道、銃剣道、相撲時二十分類京に強鬱したが二十二 終了した 終了した

中央公園遊戲場

認可がおくれて、欠伸

なった 追い訪滿飛の

八阪發延期

十三日靈一訪滿飛行

刀劍鑑定ご

歓迎の座談會

大會における試合成織並大會における試合成織並

紫文理大陸上競技大會は二十三日 東京二十二日養園通 全浦洲軍 對文理大戦に 息同代館満祝祭へ二 り同氏を搭徐し刀劍に闘する座談湖刀剣會では二十六日午後五時よ 中一般の刀無識定に願するこ、滿二十五、二十六日遼東ホテル滞在 ・参倉希望の向きは満洲

を 年後一時より上井草製技場で駆行 されるが、 満洲軍各地での力製成 で まれるが、 満洲軍各地での力製成 純益百圓を 風水害に奇附

明日は是非

染織名華展覽會を觀に大連商工會議所へお出で下さい

明廿四日限りで御座い

ます。

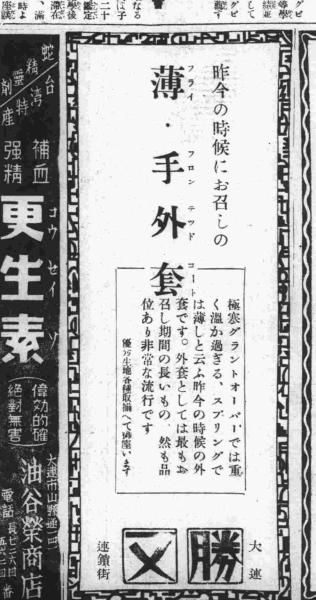
二十三日純益金一百圓也を市役所内各小學校で開催中であったが、

チチ

ハルに

安い廉い全く 安い!





連鎖街



都山流一心會

演奏會

此大好料

金州

甘井子無賃配達

もつ器電気だぞ。――別がなんちゃれて、 物かし等、 臓病かぜにふかれて、

さ、髪の臓に、片足をかけて、

兵衛為成さ、弓矢にしられた父をばに、反應を燃やしたらし、成田

活館が「佐渡 話し、中央館が

語念いたしてゐる姿の氣だ

驚きはしませい。 驚きはこませぬ。……や

も曲がらうさ、宥めたり、脱いた がりそめにも、佛の像に、そんな かりそめにも、佛の像に、そんな

陀の概を土で假つてゐるのでござるのも知らず、一念に、三世の帰

なう、そんなこさに、驚

で、この腕はおは、卵製こそ小さいが、口は大人を負かしさうであった。主命さいはれて、家來たちは

日

て、靏童鬼は、いよいよ不機搬につてゐたが、膨も、雲同しないのでゐたが、膨も、雲同しないの

をりますが、あんな童は、見た 可七郎ほごな侍を、さう驚かしてれみい。面白うないさ云ふが 首を振つて

ませう。私が、近づいて舞つてゐ「でも」「「ごこぞ、この邊りの暦でござり 「嬢か?」 一人の侍が 一人の侍が - 「繊維もないこさな」 1247 かいふその土偶像を奪ってやいつ。あの餓鬼めの作

あらう、先づ巕の黴立プロ作品か和燃吹蓋の秋醋な思はするものが 社、協同映画社の裾登場や、水谷の主要作品は左の画りで第一映画 出るし、新興キネマ第一回トーキ 入江たか子のト

がはどうやら名作「富陽先生」のれて田舎より上京する、神経

を 大幅は紙よりも薄い、顔友は皆田 かなな からなな かけつうさしな、 都会の

機構を関する。

だ、これさ奥太者トリオが髪加して先生のために活躍し、娘のため 「監隠先生」を離れて「奥太者峡 「監隠先生」を離れて「奥太者峡

子(大塚)が傾つて來る、先生は懸人への思慕からきぬ子のよき精を物色すべく塾生阿部、 一般では高官、大實業家も多かつたが人情紙よりも薄い東京、先生に友人符本(養藤)のすゝめて東京でひみつた塾生三井の案内で食堂で遊場を開く――物語のは食堂の成功さきぬ子の鯖の登場でむすにれる

邦畵各社の映畵 獨立プロも堂々轡を並べて 絢爛映畵界の秋酣 夏の東京移住は三月から決行され 明歌定の着下騰れて起工に十二月 中観からさなり竣工は明春二月下中観からさなり竣工は明春二月下

新興東京撮影所 長唄五妻八景▲本曲湖上の日 建築遅る 移轉は明春三月

(可認物便郵種三第)

「べつに、面白いことではござい

ないまで から、少年は暖かして、 ・ 一小野しいチビ奴 」

日午後五時三十分より機和会館に 大な歌、電網大機を、職業な驚、 大な歌、電網大機を、職業な驚、 大な歌、電網大機を、職業な驚、 大な歌、電網大機を、職業な驚、 大な歌、電網大機を、職業な驚、 を超れる。と

かげらふ日記(四)

・腕白少年は、

マー でもんな、何巧者ぶるやつに、ろくさいくせに、佛いちりなごする (な 変 一、まだ乳。 (な 変 一、まだ乳。)

◇本曲八千代◆ままの川◆秋の「働きなる見込を言葉◆本曲紅葉◆磯干鳥◆船唄」・鼠の東京珍住を言葉◆本曲紅葉◆磯干鳥◆船唄・鼠の東京珍住を

照福椿 油 かどや油

婦人子供服

カホンに力が全然映けてゐる、これは物部りにペイソスな多くとり たい過ぎ、場面毎にギャグを扱ひしている。これに物部りにペイソスな多くとり PINAIS 廿三日 海洋猛團映書廣瀬恒美主演

東妻三郎主演鈴木澄子

櫻木 梅子助演

是非定評ある滿毛製品を御買上げ願上げます

ひする為め奉仕的特價大賣出しを催します

滿洲の寒さも追々迫つて参りました、

御愛顧に

お

布毛

價

出

胃腸をこわさぬ理想的頭痛薬効果は期待以上!しかも

神学リード・アーレン氏主演ジャック・オーキーは デーマウント超特作・全盤撃日本版 グラマウント超特作・全盤撃日本版 ジャック・オーキーに接 キー氏主演

御買上げ

金五圓毎に中央映畵館御觀覽券壹枚宛

日まで五日間限

お差上げ

たします

啬 作吉川英治・週間朝日連載・阪妻秋の最高珠玉篇 豊田六十七 10 ・ クラスを) 回忆活 第一回第二回第三回 **剛ちやん** 0時 3.34 7.08 旅 鳥 1.06 4.40 8.14

NE 00

生人人人人

全用セスフ オセ コオ人

---四--四 四〇九五-五-〇〇〇〇〇〇〇

御用意を此のチリントに思い切って

取揃へ破格大提供在庫品の一切と知 廿五日より廿九日まで 切と新着品を豐富に

四日 は費出準 Ø 爲 め 休

午前九時開店午後五時半閉店

つる元素元金高 船塚獨特の 見 切品と突飛な堀出物

ツ (魔院 | 子組 養養ムと陶 井井井皿) サナサシシ碗器 五四二一二三二四五〇六五四〇五 升升新 一 四 一 一六六〇二六〇八五三一四 〇〇八五〇二九二〇五〇〇 ○元三四二〇 ○八三〇〇〇

百 七七九 店

貨

大連市信濃町(浪速町電停前)

毛

連滿

鈔票は安値後反撥

新造船倍增力

本年度の

世界海運界

二次五ケ年計畫において既にこれせんさし、その情勢は繊維工業策

会の七百二十萬組から八千萬組、 高米から二億二十萬米に球鹿の部 萬米から二億二十萬米に球鹿の部 では手 をであるが、共の他の部門では手 をでいるが、共の他の部門では手

一、満洲國に於ける諸般の經濟建設中特に邦人商工業者に重大なる影響を齎すべきものに關しては完滿部工會縣所及貨業團體には完滿的工業者に重大な設中特に邦人商工業者に重大な設中特に邦人商工業者に重大な

金見すること、なつた 電見すること、なつた

(新京電話)朝鮮銀行總裁加廢飲

加藤鮮銀總裁

六日來京

纖維工業の

格による) 格による)

B

日

所能議に提出される弘道電談所議 京において行はれる日本蘭王電議 「原において行はれる日本蘭王電議

、関東州並に満洲國産苹果輸入 禁止即時解除方關係常局へ要望 の件

り高田等島正副會頭長永書記長のなほ右會議には大連衛工會議所よ

工

經濟近狀

興安北分省方面の

羊毛、毛皮市況

満洲國の新施設

賞現を見るであらう、尚ほ目下大 のさ見られてゐる さこさに決定した機様で近く外交 であるが起京中の職本大連部より養余され來月中にはこれが の歸連を使つて漸次具體化する。 人貨物の大半が大阪な中心に同 画に當ら 折線、滿洲國際被に就ての正確な つた しなか中心とせる經濟人間に滿洲國 ひの買量も前し、暫く無風鬼態に大人類とないて種々の要望も現れてゐる 落着き目 先下げ一 服の 商販され、これが吹正方 先安見越し等もありて概して人類のないではない。 おおり 一般の 商販では、 一般のでは、 一般のでは、

に作成な振動すの結果によれば成 を優に物販別は八月二十四日の第二 の作成な振動すの結果によれば成 農作狀況

の である。 の でる。 の である。 の でる。 の で。 の で。 の でる。 。 で。 の で。

貨物數量

美学石油の

熱河省進出

極能に活動すること、なつた を建設することに決定すると共に を建設することに決定すると共に を建設することに決定すると共に

市 同地方を襲ふ水雲は例年的のもの 市 同地方を襲ふ水雲は例年的のもの 市 同地方を襲ふ水雲は例年的のもの を開始といれました。 を一層が長し同時に出質も更に低 を一層が長し同時に出質も更に低 を一層が長し同時に出質も更に低 を一層が長し同時に出質も更に低 を一層が長し同時に出質も更に低 を開始とたが二十五日には全部引 を開始したが二十五日には全部引 を開始したが二十五日には全部引

の市況は次の如くである

と下出週少きため毛皮により市 質一定せぬが大體左の如こ(國 幣)(單位園) かリオカ なルバカン(ド

十月初旬調査による羊毛、毛皮のハイラル』ハイラルに於ける本

洗毛工業も不活潑である 毛の出廻り捗々しからざる為。

一、一、九 九六二 三五五七四 三五五七四 二五五七四

林檎入禁解除を

商工會議所會議に持出す

大連商議の三提案

取引照會

市が大口の理念中をは腕つて居る にあ大口の理念中をは腕つて居る 中國銀行 一〇、〇〇〇 英通銀行 一〇、〇〇〇 大他銀行 一〇、〇〇〇 大他銀行 一〇、〇〇〇 大他銀行 一〇、〇〇〇 大他銀行 一〇、〇〇〇 大地銀行 一〇、〇〇〇 大地銀子 一〇、〇〇〇 大地田子 一〇、一〇 大田子 一〇、一〇 大田子 一〇、一〇 大田子 一〇、一〇 大田子 一〇 大 栗)羅津省内廣次(養鶏飼料) 学都宮市臼井正蔵(大豆、天津学行(醫油原料)吉林松江號(帽子、ワイシャツ、ネクタイ)チチハル平塚和夫(連突掃除紙)チハル平塚和夫(連突掃除紙) 大連尚工會議所扱= 月十五日至同廿日)

り退滅が観音で又復上げ潮

時れ

麻袋强保合 綿糸軟弱 三、九一〇枚三、四五〇枚

職袋 産地休會、當市は銀次第 市況で銀の引高につれ質氣をみ 切引際聢りであつた 勢柄 約定期 値 段 枚数 納村一月限 四〇七一〇 同 同 三九六 二〇 同 一二月限 三九六 二〇 同 一二月限 四〇七一〇 出來高 四萬枚 光平高 四萬枚 光平高 四萬枚 光平高 四萬枚 光平高 四萬大 大阪三品は 弱保合商財な入れ當市は愛質双 方共氣迷で見送る 上海為替情報

月下旬以降十月上旬に至る合會に於ける調査によれば

高 梁 二五四〇二五四〇 出來高 三萬枚 出來高 三萬枚 出來高 三萬枚 上來高 三萬枚

三五〇〇

0 徽花造章環花

御菓子の 御用命は 水渡田田

路 喜久屋 *

特別家族券を發行致します、御買求め

御利用下さ 販賣員が御伺ひ致しま

御入用のお方は電四六四八番へ 金州澤庵 岩 崎



共進洋行



洋服類奮裝





て北浦木林の大量仕入引合が影響 他大阪の風 福奉公

湖の地壁では例外能天災さ見る能域的なき河川によつて組成され満一であるが今年月の1

作付總面積に對する比(單位は干晌、%は無

三面無 積 穫

天津地方の 紙幣發行高

司

手形交換高(サニ日) ・ 「完成 ヤニラス大側

で、き筋の無常を養行して居るか信が幾何の紙幣を養行して居るか信が幾何の紙幣を養行して居るか信をを表する。 ・べき筋の調査によるさ大約左の ・大でき筋の調査によるさ大約左の ・大でのの ・一でのの ・一でのの ・一でのの ・一でのの ・一でいる。 ・一でのの ・一でいる。 ・一でいる。

東が割合に利助の政

の主要養養貨物敷量は品名別左のの主要養養貨物敷量は品名別左のの主要養養は一ケ年(昭和の主要養養は一ケ年(昭和の主要養養

況(世)田)

産

中央銀行が総替続制者と 市

奥地筋賣に 大豆軟調

内地變らず

心濱定期の前場寄は大株同事、 豆 けさ大豆は奥地 保合閑散

皮 軟 標 標 素 病 病 病 醫中

器枚 療生

種、魚粉、骨粉、蠣殼肝油を製造販賣 電長五四七二・八五三四

★小 一月限限 一月限限 一月限限 一月限限 一月限限 一月限 二一土土月月月月

滿元元元日見三言

大阪期米 前場寄前場引

大阪綿糸 月前場等前場引 1111名0 111名0 111名0 111名0 111名0 111名0 111名0 111名0 金票(現物 乤

(奉天)

(四六版二百五十頁装釘華麗)必須参考書株の知識

石洞申越次第無料送导致まず及資指針毎月三回一の日登行) 株式秘報 芸 行行

惠

日

一座

劇

(可認物便郵種三第)

本 見解た以て今日の事態を搭来せし 外 見解た以て今日の事態を搭来せし 外 見解た以て今日の事態を搭来せし の措置は日滿經濟プロック

州内外を一丸ごした 販賣組合設置の要

特換期 にある 满·洲·林·檎

年度における栽培配磁(州内四千 数年間に非常な豪塞でなら昭和八 瀬州における苹果栽培に最近十

るは採算上有利なお農作

でいるの経済を提案をなすもので全後無いないの経済を提案をなすもので全後無いないので全後無いないのでのできません。

正野し多分の理由、な持つさしても 大局院見地よりして日本院に置い、大局院見地よりして日本院にでいる。 大局院見地よりして日本院に満洲國側が報復手殴さしても 大局院見地よりして日本院である。 変れきの輸入禁止を膨行した結果。 である時日本側さしても選挙するここが

(日曜水)

高五千幅の増加を年六月萬五千幅の増加本年六月

三三九八〇同

大阪、名古屋より 職邦繊維工業總生産高は百十二条年度たる一九三七年における

はて、各部門別からみるも左の如って、各部門別からみるも左の如って、不多の掲載さなるわって、八多の掲載さなるわって、不多の掲載さなるわって、

問題も近く解決を見るものを観測前にあるものさいはれ一般には同上に於ても常然設置されるべき建 が、一角度に対している。 を対し、 をがし、 をが、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし

等な見るここにより職態館な粉來のバレスタインでの取引変活、新敷格さしての取引変速成立

鈔票寄安乍ら 定期喰合高(脚)人

引際反撥し

一海標金

爲替相場

O一九三電·角場広西里汪近連大

大使は加藤大使館参

入抗幅を搬へ人目を恋いた 表部から 大きな書類 三日の日英第一次會職には日本代

會商出席者

官、岩下大佐、溝口鴨託松平大使、山本少将、加齊拳事

電車京二十三日養國通』二十三日 東京二十三日養國通』二十三日 東京二十三日養國通』二十三日

はないでは、なった、但し今後に於いて公式コムミュニケが養いとに於いて公式コムミュニケが養いというの概念であり、更に他日機のでは、これのでは、 但し今後に於いて公式コムミュニケが養

減少の傾向

京署長を搭致し現場

京二十三日發國通》

份部分課規定

御中である

事務局の

中期の東アフリカ英植民

寫眞班に包圍された松平代表

を悪へ入れ直に議場へ掛けた、時に無對してゐる間に中からお馴怨

日本案の審議を開始

艦艇を極度に縮減して攻撃的戰爭を絕滅し、

各艦隊を防禦を基準とする艦隊に編

地警察署より二十三日巡査新制

辭職飜意の勸告至

指示

を仰ぐこさになる模

うで

「いっちれてるる

が問題はこと

辭意を飜さず 大連警察署員

出づるものこ見られてゐる城下後 様であるが、長官は既定の方針に

分れ無事解決を告されてある。 まで悪化せず窮様で に入る者を静職する

者さの二派

に於ける巡査級の態度は更に即個出づるものさ見られてゐる郷下後

を強行せんさする者は愈々官吏のの問題さして注目されこの上鮮職

の成行きな一部では

一局長歸任

昨夕新京を出

日本の主張を

一分に話した

目を惹

ールド、大蔵次官フイシャーーギー、軍令部長チャツトフィーギー、軍令部長チャツトフィー

警舎局長宛都表邀室の手廠が執らる空氣の緩和は至職の懦勢に立ちる空氣の緩和は至職の懦勢に立ちる空氣の緩和は至職の懦勢に立ち

査及び巡査部長の任免権は局長にれるものさ見られて居る、元來巡れるものさ見られて居る、元來巡

三日午前九時相携へて長官々邸に「新京電話」關東縣三局長は二十

する護、臓、質、矢の悪臓じ引縦き電脳に

曾談一時間半で散會

た第一次日英海軍肇備突渉に會談一時間三十分にもて午後零時間ロッドン二十三日登園通』二十三日午前十時四十分開始され

いて糖たに作成せらるべき新海軍銃約に鵬し日本政府の職跡たる方針を詳細に真り説明し軍備で等艦の職立、現依地率の安止を含む左の『ロンドン二十三日養國通』本日の第一次日英會談の內容は嚴秘に附されてゐるが、權威ある筋より離職するに日本側は今日の會談にお

日本側提案の内容

は自ら各艦種を定め制限の限度内で建艦するの自由を保有す(右に對しては具體的數字に現行比率を廢止しごれに代る列國保有噸數の最大限度を定むる總噸數主義を以てし各に、列强は國防上の必要に基いて軍備平等の原則に同意すること

いよく〜緊張裡に歴史的會商を相は座長としての歡迎挨拶に於者團を絕對に入れず、ポワイト交渉であるといふ建前から日本

緊張裡に歷史的會商を開始した(寫眞上より松平、

歡迎挨拶に於て軍縮と平和確保の必要を力説し續い

軍備平等權の確立と

元存比率廢棄を强調

台警察署員の辭表

應局長

•

ン豫備會商始まる

追隨を許さ

れだけに堀内さん、

政策協定を促進

政民委員懇親會開催

つた場内竹次郎氏は元滿綴調のでは、 課員さしてハルピン事務所 松花江や黒龍江を

住事が続く異な紹言ないでうな 素いひた

り此處は違ふさか彼處は川

いが時には飲む、

如何なる地間でも一目見るな形は手にさるやうなもので、 る限り他の追随な許さない、が何程こか、凡そ河川に闘す 側溯における河川の狀況や

「東京二十三日番目」 の民政策監督際部会議で政、民港携の民政策監督際部会を関係させの関リ教成さ意

第六師團行賞

ア

ス

◆…滿洲に於ける河さいふ 動務し、河川交通に関する んが踏破してゐな

滿洲河川通 後回さなく

首相

歡迎挨拶に

軍縮の必要を力説す

松平代表我方針大綱を説明

緊張裡に極秘

来國聯合艦隊 再び太平洋岸へ

智囊を絞べ

注目される日本

条どの

妥協點

を明その成否如何は

五年の水會議の 五年の水會議の できるできるでは、

機されてゐる 生死の岐れ格をなす 大三下

會談は廿六日 日英の第二次

『ロンドン二十三日養國通』英國 関へのわが握琴説明は二十三日の 明へのわが握琴説明は二十三日の 明へのわが握琴説明は二十三日の は、ののが上では、一次日の ので十四日午前米國側と第一次日 ので十四日午前米國側と第一次日 ので十四日午前米國側と第一次日 ので十四日午前米國側と第一次日

漢智を行びつつ再次 カモ軍港を出港、カ

歸京の途にある佐藤大使は午前八

佐藤大使園公訪問

河通過の日を継野秘の途に就いた冒二十

班內竹次郎氏

奥地に入り込むものなぎは経営軍閥時代排日のため邦人で

5

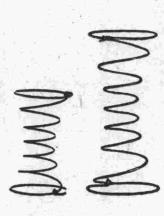
「情より東北地方内作地破察の顧末 に関し報告と

ル投宿 加武官)同午後五時ヤマト 氏(海龍警察署長)

方少佐〈新京憲兵豫司令部附〉上 昌德甲佐〈關東軍司令部附〉 作氏(滿皺錦州建設事 同午後四時四十分着

際長)同午後四時四十分体次郎氏(ハルビン警察 個氏(滿洲國質業部人事 大佐(淀艦長)同午後 大分着はごにて來連 人分着はごにて來連

誇る斯界最高級品絶對品質と耐久性を 賣店募集



大阪市天王寺區北日東町一四五 電話 戎 三四六八番 振替大阪四〇九六七番



内務省官吏が救済 村の総無は政府が

のみなら い▲その

美曜によって脱青の施珠が等階載 切なな繁華によって脱青の施珠が等階載 運動は政策で地盤の協 所謂在滿新機關の名 一體何んな政策の持ち合 ◆これでは南浦だ

北鐵交涉順 調に進捗

ナイト(利弧内透)無音ギヤ

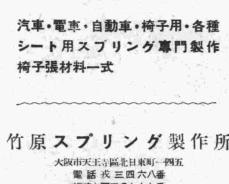
無音リグナイト(機)歯車の特長 1. 運轉中噪音を發せず 2. 强靱にして脆 弱ならず 3.强度鑄鐵製と大差なし 4.耐 峻。耐油。耐水。耐熱。絕緣 5。耐久力强大に - ハイド品に比する尚能く數倍 リグナイト(利孤内透)工業株式會社 代理 店

所 大阪市天王寺區上本町七丁目六五











がの電影表される見込みである ので第十四旅戲の分と共に十一月 ので第十四旅戲の分と共に十一月 『東京二十二日教國通』 一麻日中に教命の際の第五帳浦州事變論功 「職師殿及混成第十四處廳に難し饗 「本の豫定であつたが歌音の都合で 先づ第六師師終七千餘名に對し餐 經理官を配置 約販賣店募

第八師節の分は既に内申

ロンドンバツク

電話 我五七十 布 六年二十 番目

丰 手提袋發賣元 製造卸

草羅記念特别唐岩
鼓脳

大艦廢止には米國餐意か表せざ 内鮮滿周遊の 六徑路新設

(ハ) 國線各課より四平街(泰天) 大連、門司、神戸、敦賀、清津 副們を經て發肆に觸着するもの 質金―(インに同じ 大連、四平街、チチハル、圖們 大連、四平街、チチハル、圖們 陽、四平街の各解よりは(イ)に数線に購着するもの数線に購着するもの

金四十四間十銭及び関幣二十六 金四十四間十銭及び関幣二十六 金四十四間十銭及び関幣二十六 一十銭、京都、大阪、 二十銭、京都、大阪、

(イ)北鮮線清津より圖門、チチハル、四平街、安東、釜山、敦賀を終て清津に帰着するもの賀を終て清津に帰着するもの賀を、一般三等金四十圓四十銭との個幣二十六圓九十銭、墨校及び個幣二十六圓九十銭、墨校

賃金各録共三のヘインに同じ

質、釜山な經て發躁に躺着する 街、チチハル、闘們、清津、敦 街、チチハル、闘門、清津、敦

(イ) 雄基より幽門、チチハル、四平街、安東、釜山、敦賀を軽で雄基に贈着するもので雄基に贈着するもので雄基に贈着するものでは、學校職が画幣二十六圓九十錢及

をもの なりの一般三等は金 質金、東京よりの一般三等は金 質金、東京よりの一般三等は金 関九十銭、京都、大阪、神戸よりは二の(インに同し 四

天)を終て破解に跡着山、敦賀、雄基、胤們山、敦賀、雄基、胤們

一代、チチハル、一代く滿鏡線各驛より

五日

三十日

新新新新柄柄柄柄

北鮮鐵路管理局案

はかりでない。主張するであら

加養見せざる英米は、此の方式

(イ) 北鮮認維基を起點さら一の (イ)の徑路をたごり維基に購着 するもの、賃金は維基より一般 三等令四十三個及國幣二十六個 十八個二十錢及國幣二十個廿錢 中八個二十錢及國幣二十個廿錢 中八個二十錢及國幣二十個廿錢 中八個二十錢及國幣二十個廿錢 中八個二十錢及國幣二十個廿錢 中八個二十錢及國幣二十個廿錢 東京、戶下、數價、維基 日本、中八、四平街を經て 養課に賭着するもの 養課に賭着するもの

(ハ) 國線各聯より四平街(奉天) 大連、門司、神戸、敦賀、雄基 岡川、四平街、奉天を終て登録 に聯着するもの、賃金は各聯共 に聯着するもの、賃金は各聯共

(ハ) 國線各群より四平街(拳天) 安東、釜山、敦賀、清津、圖們四平街(泰天) を終て登録に開 着するもの賃金各課共に三のイ に同じ

蹕、泰天、鞍山、遼陽

雄基、敦健を經て豪驟に開着すた連、四平街、チチハル、圖門、門司、門司、門司、門司、門司、

な歌歌に出てるかは目されてゐる 以て終ったとは難も結局製鋼所の 要求は否決されたこさなり今後是 要求は否決されたこさなり今後是 1十萬經製練は意業は一應留保さ

上京を前に林總裁語る

1 現月 (內村) 二分八秒五分二 2 金陵(首) 3 淡洲、配一四〇 第十四顆馬(不鼎馬) 二〇〇米 第十四顆馬(不鼎馬) 二〇〇米

したで行くつもりである、明 し通常驚會には早が明けてから をれるこのここだから、それを きれるこのここだから、それを きれるこのここだから、それを は解連

な組問題は 拓務省の満級 をですだがざうもざの話も行過 なやうだがざうもざの話も行過

ここはあるまい、北郷譲渡問題 にこになった。 はこちらには歩だ何も言って來 てゐないが萬一瀧線に でゐるが萬事は調印してからのここに、溝鎖の改組問題さいふここに就いては私は未だ何も深く考へてはるない、日満合號の はおはれば、 清線の改組問題といふ。 ここに就いては私は未だ何も深く考へてはるない、日満合號のも言うによったろく、 激はあるまい、北郷譲渡問題

般凡調

堅調に弱含みな辿り、高粱は奥地保含を示し、豆粕、豆油は銀價の後場の定期は大豆は仕手薄く閑散

同同。 一月限 四〇九九 一月限 四〇九九 商 品

屋

年一回の誓文拂皆樣御揃ひで

明近 10天全 10月 20 10月 10月 20 10 十銭高に引締る上海標金軟弱につれ前場 鈔票聢 物(單位錢) 物(單位錢)









急設電話苦心

増税刷行の時機法望さの釈測あっ、大蔵當局が豫算方針さらて東軍部の主張に構つき得ない軍部の主張に構つき得ない。 ◆微整電話に就て「一正直替」の 名を以て述べられたことは態に だもな水寒で驚戒さしても一日 の申込者と二日以上の申込者と は何等かの方法に依り驚遽率に に同一人名義で二日以上の申込者と に同一人名義で二日以上申込る で人塞のみを區別して一般の抽 が人塞のみを區別して一般の抽 が人を取れた。こと、せんか、、

日附を以て第一戦隊参謀に撃鞭部先任参謀安藤宗城中佐は二十二 安藤参謀榮轉版順要港 二百四二二百四

少な野望してゐる
いな情れる金融資本が公債の減少な野望してゐる

て非常時所得稅賦躁論が相需工業輸出工業等の殷盛に

拓務政務官

旅順競馬初日

日本人社以一同解告第二株式會社秋日本人社以一同解析第一大連案業株式會社間の復州編業株式會社

だ一吉、若本軍一

引中寄常期。 當限 九九七七 九九七七 七七七 七七七 七七七 七七七

電話三八三九番 大成ビル三階 横 内市内伊勢町浪速引角

十月二十一日 中月二十一日 中国 一十月二十一日

大連市伏見町五十四番地

堂

三やの 大連市熊城可八番地(浪速町下る右) 一日為 まで玩具人形全商品二割引

開店一周年を迎へました事は皆様の御引立の賜と厚く 特に二十九日は開店記念當日に限り二割引 周年謝恩大賣出

各國酒類 本ケ 八 正二 食料 + 品 0

い。何れにしても、現在の列 約原葉の通告が爲さるゝであら う。尤も之れは機備會商さは別 は明らかであるが、鎌重融談で右よ 鎌軍家が各省に内示されるさなれた 後軍家局は地機職行の円による球地機能が2に満足し得のは明ら かて陸軍部局は地機職行の外なきかさ見てなる 場が機能が頭の機嫌は かさ見てなる 場が機能が頭の機嫌は かさ見てなる と 要井蔵相は就任後高書する。

(版內市)

に臨む態度 海軍豫備會

献

說

底承認し得べからざるものであ

英、日米、英米の間に議論の沸中に於て、日

鶯めに、本年中にワシントン條を一九三六年末日以後に残さぬ

騰か見て郷まりか見ること困難

海軍々縮強備會は二十三日の 相英會談を以て開始された。これは固より強備會で、儀式ばつ には固より強備會で、儀式ばつ

をひにして、此方式大利に於幸ひにして、此方式大利に於幸の問題が護せらる可言。 地處まで進めば最早困難きで、此處まで進めば最早困難きで、此處まで進めば最早困難

な場合を生するであらう。日本 の提案は、固よりワシントン條 約、ロンドン條約には拘泥せず 会然新級な立場の上での立論た を然新版な立場の上での立論た

昭和製鋼所の

五十萬瓲計畫

應留保と決定

十三億八千萬國、、茅町六億一千十三億八千萬國、歲八總额

20 人の名かがら家族や 果を來す

要がありますが、こ 学を調査して受理を 日除日に除る多数のり實行するには何分 个人の楽態や、電話の公平を期せんには 原の勢にて利子な附して御返決した方々に對しては、日歩

10 九三 大引 神戶

条 (單位十经) 二月 110公 110公 三月 110公 110公 110公 110公 110公 110公

移轉御通州

帝國農會長

閣内にも増税論

酒井忠正伯推薦

東京二十三日登四通 帝國 東京二十三日第二十六回通常總會 では二十三日第二十六回通常總會

陳(四馬身) 3是、配

・製造総成事務工作と近く第一次首一近く深葉布護院館の聖びだが、歳。
【東京二十三日要画通』主計局の 定:歳入康賞第一次見補りを終り

森島總領事出發

満鐵の改組問題 心配は要らぬ

大連盲啞學校

暗和九年 大の名義書換を停止す は社定数第十六條に依り昭和九年十一月一 は社定数第十六條に依り昭和九年十一月一

舞選士大内成美語事務所

ルビン二十三日愛國通」森島總領

城博、矢代亥之吉

廣告部 電四四九一

篠 原 神経痛の方に大速整備毎四丁目大黒屋乗店

首様の手許に塩出する事さなつた と歌かの要認を答れ候離番を選低 の手許に塩出する事さなったので民政黨で では、いては歌かが民政黨より が高に載いては歌かが民政黨より 民政黨より選任

連會屯金融組合、連中學校職員一同 廳報及附錄を添ふ 諸株軟弱 後場市況(出三日)

十錢安に引けた一一錢安、月本一大錢安、別五十錢安、新東五十錢安、新東五十錢安、新豆二、

擡頭を豫想

他に財源無きため

滿洲化學工業株式會社

大仙 大小 大小 大小 大小 大小 大小 大小 大小

你信

で東部総治総各地議祭の途に上東は二十三日午前七時十分資列車 三千圓 害義機 捐金人名水 大連浪速町第一、二、

が第一である。斯くの如き比率 き比率による制限を設けざる事 き比率による制限を設けざる事 き比率による制限を設けざる事 が第一である。「から定まつて の原則が既に早くから定まつて のる。即ちワシントン條約の如 き比率による制限を設けざる事 が第一である。斯くの如き比率

十七圓六十八餘也

野虎太郎、篠崎巌、伊森徳平、本忠、村上シゲ、松原典三、小三好、山下武雄、中尾共三、廣 图五十錢宛 西安城田中美代治 美元0

表表

品五 先中當

御禮申上ます

此さしては決して利子の上に於 で過ぎないのでありますから常 受金の常座権金利息は日歩二厘 るこさになって居ります ◇一日本人税關更が出動したのが

思った、窓口には確に受付時間

Joy of

◆去る十月二十日大連聯小衛物館 て利機するものではありません 質所に輸入申告書を提出のため 税關吏の怠慢

日本各地名産

孩 数

the Tasto

つて、城で不公平な紹 利用した人は様なする 一人の申込みでありな 電話の急騰な必要させらる、方 々に獣し却て御迷惑なかける

出來るぞ大建築

東に終り新春よりは際本に終り新春よりは際

住宅難安東の救ひ

触まれ行く人

與へる更生への途

安東平民工廠の努力

しての掘みに

体にしたい 関連ないさ思っ でも にしたい

B

實業團

野抗試合は惟育協會の主催にて二、整山』優勝争奪全鞍山剣道関徳

全鞍山劍道團體試合

豐年滿作

共產黨反 『飽く迄祖先の地を護る』と

三源浦から宣言す の白骨を埋めたる巌家

奉天全省

おける教育の實際上の

洮安、鎮東、

殊に見上げた

圖、撫松

第三日、明 民會開設以來の際事さて目下各方

を自の職分を持つて治安維持の重 般に観覚せしめる、但し本年中は他に攪はり民衆をして不安の念を 北陵門前の茶屋繁業せずさ 北陵門前の茶屋繁業ですさ

撫順選炭競爭

誠意を披瀝

留任を懇請

改善並に能整堵進な儲る目的から

金州の各團體

三ケ月間に取り敷きな帯資のもる機能が強能が発展が重にして、八、九の炭酸で今年より新たに質能された

風害地に義金 上業實習所生

好果を納めた作興週間

宇佐美會長語る

八の意氣

教育總會

軍部と民會合同

単並に中國共

錦州懇話會を組織

有意義な一歩踏出す

營口港

倆鐵社員會

相談部新設

員の相談相手になる

だ困難なのみか市街の美観な様式 見えす職能れば派家さ化し歩行基 山海 間中 地域の大き立ち上る魔塚でお前かけば歌々さ立ち上る魔塚でお前かいて歌される常に衝路は破壊され路。る事に決定機能その他を駆公響に観察なため常に衝路は破壊され路。る事に決定機能その他を駆公響に観察なため常に衝路は破壊され路。る事に決定機能その他を駆公響に

た シ女史の五名で相談事の 地帯川島橋吉氏、周次島の 地帯川島橋吉氏、委真警院出日 有三氏、郷郷

六、其他一般人專に關する相談
二、總育に關する相談
二、總育に關する相談
三、智育に關する相談
三、智育に關する相談

簇生した飲食店

吹く秋風に悩む

公主領における昨今

内外線工事は僅かに解方面を残す 工事従業員の懸命なる努力により

三日

好天に特作物も平年作以上

滿鐵消防隊分離第一年

世五日演習を擧行

大馬路を修築

一般し同四時半閉會した

一般し同四時半閉會した

一般に同四時半閉會した

一般に断し解析態度を持して來た

一般に対して、

一般の

一般の 火宣傳

熱河省凌源驛の 躍進的成績

警察官二百名の辭表を一誘赴連し時五十分登念行にて四平街警管下

九月中の示した實績

し郷里で表彰された冒通知があつ 0

關東廳職員留任懇請 合地に運動續 中質製協會級外代表者數名官午後 菩等在留民の醫療官に 地方主任、瀬戸地方委員議長、田 に基へず、國家重大の計 地方主任、瀬戸地方委員議長、田 に基へず、國家重大の計 地方主任、瀬戸地方委員議長、田 に基へず、國家重大の計 地方主任、瀬戸地方委員議長、田 に基へず、國家重大の計 職の意固きものありる ・ で表者會合職合整論の紹果、伊藤 職の意固きものありる ・ で表者會合職合整論の紹果、伊藤 職の意固きものありる ・ で表者會合職合整論の紹果、伊藤 職の意固きものありる ・ で表者を含成合整論の紹果、伊藤 本満機構改革に關し整っ ・ で表者を含成合整治のおりる。 ・ で表表を含成合を表表が名官午後 一等等在留民の警察官に ・ で表表を含成合を表表が表にいいます。 「田平省」在漸機構問題に開議法 極力自重方を 撫順の各 を懇望 官に使った を整察官の留定 大りさ聞き名で大 の教に含む を表記されて大 の報告を表記されて大 の報告を表言の留定 を表記されて大 起る 團體起つ しも慰留運動

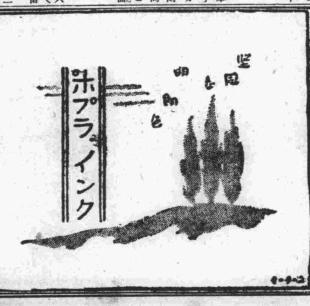
めて大なり、此際閣議決定の方 対に基き國策選行の完璧を期も 慰留のため閣下の神職力を神順 財話のため閣下の神職力を神順 新開地のそれの如くカフエー及飲 ・ 食店等の際製者は緩出しなほ開業 ・ 食店等の際製者は緩出しなほ開業 ・ 食店等の際製者は緩出しなほ開業 ・ でも今後の腔可に断し手加減な加 る電燈が燃燃さ転焼されること、 コーロよりいよく 女化の光りであれては完成するので二十八日より三 部間電動力元の豪電所も既に完了

傷病兵を慰問 熊岳滿鐵社員

(多か)が運動と城内に向ふ途中、

◆ 報山友の會友愛セール 二十六日午前十時より社員俱樂部にて日午前十時より社員俱樂部にて会全は関西風水害義捐金に充當 簡笑も電車な機能とやうさも側面 を電車の前な機能とやうさも側面 どく東行中の異希整でもの運輸せ - 二日午前十時から旅順警察署(樹組合旅順支部臨時總會 二 會と催し

外科一般 泌尿性病科 ×光線科 加藤桃醫院



月【奉天】二十一日午前零時頃奉天 三人組織盗職が、これに抵抗したる協 が持し、金配《衣験四點、現金三 が持し、金配《衣験四點、現金三 中間を掠撃、これに抵抗したる協 め金率膜の睾丸に重陽が重にを がある。 一個を振撃が、これに抵抗したる協 人逃亡、苦悶中の金に直に響師の 人逃亡、苦悶中の金に直に響師の 人逃亡、苦悶中の金に直に響師の 人趣さ、苦悶中の金に直に響師の 人趣さ、苦悶中の金に直に響師の 人趣さ、苦悶中の金に直に響師の 人趣さ、苦悶中の金に直に響師の 人趣さ、苦悶中の金に直に響師の 人趣さ、苦悶中の金に直に響師の がボンタンアダーコ

强盗の手引き 物騒な同居人

日本一大キナ

日本一(その三)

●化騰性の厄介なグリグリ●遠球状の頑固なグリグリ 対に除結核 ▲同車接数二一一、一〇〇題(增) 数一〇三、五四四

に行ばれてゐたがその結果東獺採 炭所が一等に入賞も二等新屯三等 海邊警察合併

孫氏の美學

が、この段

大為め各種の事情により更に 素を提出したさの事であるが之 は國家的見地に立脚し後來の總 ての行掛りな清算して願意現職 ての行掛りな清算して願意現職 に留まつて貰ふのが至當である に留まつて貰ふのが至當である に留まって貰ふのが至當である に留まって貰ふのが至當である に留まって貰ふのが至當である

「編集日」海邊警察隊で速河水上警察局の合併による九月上領域河水上警察局を海邊警察隊本部に移戦 せしめ電気的には合併せしも尚水 せしめ電気的には合併せしも尚水

酌婦のドロン【奉天】

北陵の拝観・大阪の手観・大阪の手観・大阪の手観・大阪の手観・大阪の手観・大阪の手観・大阪の手観・大阪の手観・大阪の手観・大阪の上には他人に借りた着物類につけ、一大阪の上には他人に借りた着物類につけ、一大阪の場でして住込み中、二十一日の北陸にコナニ日より之を解き一れて居る 類であること、なり従来の水上局事務一 あこことなり従来の水上局事務一 あこことなり従来の水上局事務一 を海艦戦機管所に海邊繁終艦戦機 を所に各地の分局に海邊繁終艦戦機 を所に各地の分局に海邊繁終艦戦機 を所に各地の分局に海邊繁終艦戦機

に山口響長を訪びそれより警察を 農事試験場其の他各官衛の首脳部 とな市民の線念を披露して を訪問し会市民の線念を披露して を訪問し会市民の線念を披露して

国会主義 公主義 公主義 不可不 三地方事務所主儒第十九回訳 宗記 三地方事務所主儒第十九回訳 宗記 三地方事務所主儒第十九回訳 宗記 三地方事務所主儒第十九回訳 宗記 中時より午後三時まで公主統派 本年は氣候不顧のため出品成績 を氣遺はれたるも例年以上に優 を氣遺はれたるも例年以上に優 を氣遺はれたるも例年以上に優 を氣遺はれたる。例年以上に優 で一日午後三時まで公主統派 がって賞品の授奥式は二十十日午後三時まで公主統派 の自変ありて多數來観者の入場 にはリンゴ義二年の にはリンゴ義二年の で表述された、 一人賞 一等六名、二等 一十日午後三時まで公主統派 本年は気にで書品の のもの方の出品成績 を高いの方とにが會場 にはリンゴ義本類。 第花、会裁 には明る盛會を極めた 蔬菜品評會

過鉱印ト御指定ヲ!!

印銃圖 遺録 型錄進呈 日愈象

三五、九八八圓五

赤は桃色に見え

就線を

線は神なっ様は

チト無關心ぢや

ないてせうかネ

赤と灰ー

おはみえ灰は粉

お子様

0

調和

355c

無と教と権・ と教と青-

思がすんさ渡く

黒と黄

景が黄味を帯び

業は背、物は黄

くなる

終がハツキリし

機振めるさころを例示してみませた場合への世界が多いやうです。ここれの世の対象

黄と青-

何れる獨立して

赤と黒ー

赤がハツキリ

機能の肥る秋、食器も時傷に秋も深くなりました。お子

季節向のお八つ

者し他できたなり 本し、かたします。 では、しいたします。 では、こつて水少 の歌子を仮 がは、こつて水少

パッグの若返り

奥様の手

帳

紅――目に掛して懸か

は黄味な帯びる

互に明瞭

青と橙

南は薫ら、終さ

の表面に包み五六寸位の情事がな切り、前の世界

を切り、前の世深殿で歌子 のおしてもば常に上げて を終つたならば常に上げて いまり、

一杯のオリーブ油さ楽さじ二杯で振い皮で出来たかばん娘が手をがれましたら、まづ柔かい場でよくふいて、楽さじ

イヤ中えりな選ぶさ

黄は樽さなり線

動かねやうにしてなるべ

た七球か十球位

おせ合せる

うつさしてやりますさ十日位で

根が出

と 用いる場合は

飲きつめ、この上に球が並

クロッカスならば色の遠つた

日

過ぎるさ球が水浸しに

なつて腐りますから底が水につく

べく光質した大きな球を選ぶこ

用ひになったらクロッカス(花

水の際根ないためわやうに減なついて壁の中が形くなりますが、換

ざに置いてやるミドンドン成長しむに伸びたら日當りのよい意際な

こどもの胸

といますから、芽が出かけたら徐

じめますから、

のガラス酸を用ひます。酸は最

2, 50

花着

相當学がのび

ければなりません。球が覚験です

沈つてクビリ切りの過

ヒヤシンスや水はは夢

水栽培

さあ、

お正月に花を見る 手輕な水栽培 きれいな花が見られます。今これから味があります。今これから味があります。今これがは様が見られるなど つお試み下さい。

お試み下さい 等や機はごんざん大きくなり、二 なら響るやらない方が安全です。 かうして時々水を取かへるだけで かうして時々水を取かへるだけで かうして時々水を取かへるだけで 等)のごう少量な

たけらず。 (寫真上はヒヤシンケ月も終つさ大きな蕾か持つやう ろしいでせう。反動に背の低い一尺も或はそれ以上も短くてよ





腹が馬鹿に突出て大寒恰好が悪い 脚部と腹部の分れ目は、普通路で別より極端に腕がへこんでゐますのより極端に腕がへこんでゐます。 然に治るものでせうか。(その母) 戸外に出して日光 初めて催された 配はおりません。(池田嘉一郎)

電差に偏半腕であらうさ思いま 浴と運動をさせよ 所が後であれている。 一般が確されなかつたさころ、上 のまだ一度もそれ等の系統的展 がはらす。 では、まだ一度もそれ等の系統的展 がはらす。 古面の展覽會





はらきりぐら又はきむらひぐらさとり地の中に入つてゐるちぐらはくり地の中に入つてゐるちぐらはく性感がさつて腱をかませるので

天體の試練へへ

震災を忘れてな

震災の

思ひ出

橋月南選

主婦の會権干にする

記念川柳◆

成雄背面

大連

徳川各時代にわたり、陳されるお面は古さら陳されるお面は古さら 秋窓雜藁

ンド・パッグに除らず、すべ 職法館を訪れる人は割合に少い。 で料か見るために、一萬形近くも で料か見るために、一萬形近くも 歌って航海中から通信を寄せられ、歌き科を強り、苦が駅かの販電に、焼砂なつけた一海

無に就ては率ひにも大連及び東京に新しては都常の圖書館の職者では光が終は見つからない。 火郷 新線ミ 大器料さに関する女獣な猫 類が脚であるが、日本の火葬場の が、日本の火葬場の 設けの資料を探してゐる人に出質

を深し、それで汚れなふきまつの特點を混じたものに柔かい何

プルユーンの

れには意外にという。 る書が費き

関値あるこさか知れ 此本は何さしても

稔 の後、からのに繋がなのに繋が 道を敷設し、 野順に、沙河右岸を内に此の人は、日露 かして著るしく

出されて、

はつて東天に引揚げるまで踏止ま

つた人である。

口田

プルユーンの 所蔵の第三版 此版識返して のる本にジャン・

年前、京城の話本屋で鑑書の際、 年前、京城の話本屋で鑑書の際、 東京や大連でも時々自饗本は 見かけたし、又私自泉がメリなご で売めた話本の中にも自饗本は も一次めた話本の中にも自饗本は を記述されています。 理由があるのである。菅で學生 私は自著寄贈の場合わまり

ち無理なここであらうか。私はいかのは白曜なり」といふ自智が、四のは白曜なり」といふ自智が、四のは白曜なり」といふ自智が、四のは白曜なり」といいる自智が、四のは白曜なり、四のは白曜なり、四のは白曜なり 東京市澁谷區代々木深町一六一三 出されて、関しくも文化しいことが思い 振順東三條通二-展古垂れてなるか震災のb る震災日安武

お羽織 程のよさはこのコッで 神秘地ではらないで方々をぶらついた。一覧地が置たらジッさ止つて光なて、「なが居たらジッさ止つて光なて、「なが居たらジッさ止つて光ない。」 蜘蛛に

就

おり巻分盤目になすつた方がてまぬりますさ、お世様方の引きがざん~~伸びてまぬりますさ、お世様方の式でまなります。 この頃のやうに振無靴ですが、この頃のやうに 終長目にします。長橋総の丈よ ○…婦人ものは一般に男物より心 なすつた方が恰好がされます。 り八寸から八寸五分計めたら大 方では八寸乃至八寸五分位畑く 物味も大分多い。即ち黒極性のく て郷の探慮なはかつたら大分効果。 (いで方々をぶらついたり)では、で方々をぶらついて充分 た夢なしてゐるの た夢なしてゐるの 変から秋にから秋にかられています。 変から秋にからである。 は見離らないかは見な情へても して恰度職の様の

〇…関東と関西とでは羽織の大も 機の繰り扱いのは野事くさく、 機の繰り扱いのは野事くさく、

ぎて氣品を失ふ傾きがあり

て好が成熟する くかぐもの葉 けて郊外でかやや

などが多い。ふくろぐもは子もりなどが多い。ふくろぐもは子もり 果の中で変尾な って、このは、 なる、雌はこの巣の

ていらつしやる運動も満度でないらった日中はお子さんな月中はお子さんな月中はお子さんな月外に出して充分な日光浴さな月外に出して充分な日光浴さればカな増すやではなりません。 殊に何

さげる変尾が終る

「豆に喧嘩したり、かみ合つたりしに乗つて避んでゐる。お豆同出は

五に喧嘩したり、かみ合つたりして決して共同生活をしない蜘蛛も

生殖哨育の本能が生物で最も強い

| 電場の友(十月派)養行所東京| 電場の友(十月派)養行所東京 行所東京市目黒區自由ケビロ本(十月號)サカロフは

丙床遺錄·
竹久夢二

財界魔閣帖矮四

女の話

赤十字國際會議

严野

扶桑山館

新利紹公 いつて蜘蛛の原始的なし

あって一寸見つけに あのて一寸見つけに は地中にこしらへた

(いべつ)

田上城科

他のくもが単間なのそし

給科學と唯物論…石 ■ を職く可き名言)上 休次と安達… 2 を持つ 植村清二 宗白 忠勝 阿部眞之功 說學 管傳受欲篇 ^{設小}山中 か豆古 ·宗教·藝術のメモか 文藝時評 阿部知二 塩 登場 歌合院製林美美子 壺 がいませんが、対外 加游芹澤光治良 (標)石坂洋次郎 生田長江 房

沿海露领買以論 於 於 助 杉森孝次郎・芦山川均・石

東京市

→ 大穀問題の基礎総一小米穀問題の基礎総一小 界情報 《四種原語》石黑 》

「在滿機關」の縺れ 第三帝國に滞在を 臨時議會風雨强冷は…逸名散史臨時議會と政友會…馬場恒吾 國王 の連れ・北線

暴富 頂の大暴風 報と高潮水 村

刑務所能

文 中 野 重 治

學生とカフエーの業

の問

錢十八價特

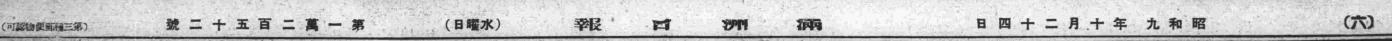
旗幟鮮明、堂女大衆と共に進

軍 す!!

日 生を飛ぶ さ云ふ事け 水泳でも 一五二の 三名か でるこ切りがあり 意味で飛行機機能者養成の第一歩の構造さか、操縦 立つものであると信じます。この Ξ 人手合戰譜(十八局) 00000 大連(JQAK) 午前の部 ダ 五・〇〇 (東京より)経濟市況
五・〇〇 (東京より)子供の時間
「マンドリン合奏さマンドチエロ獨奏」東京ブレクトラムソサ 人
チエロ獨奏」東京ブレクトラムソサ 人
学系高野保 (一) マンドリン合
を (イ) 行進曲「ウムペレー
世」ゴスティト て、第一大権の一人を持って、第一大権の表へ 1二・00 時報、郷 ユース、レコード ユース、レコード ニ・五0 (東京より) 三・三0 経済市況。 期待を以つて製動所 かさ云つて財 廿四日 品。早只只 【面局の迄飛八四は圖】 二。四六六。 ▲六八金引 ▲二十六¥ ●七七銀 は 味線)稀音家四郎助、稀音家五郎 (小鼓) 翌月左吉(大鼓) 翌月左吉(大鼓) 翌月左吉(大鼓) 翌月 八・五〇 段巷「大森彦七」法地 山町田旭要、満洲音樂(レコード) 四(五) 但も四二金さ退いては欠第に歪然な保ち攻勢を採る心算の下に幌格な保ち攻勢を採る心算の下に幌地のはよい。 六・四〇(新泉より)「滿語講座」 ♥補助ダビ代理店へ ラヂオ聽取者の 天 (MATOKC) 「其七」 类 六篆 下 慧 京城(九〇〇氏氏) ○五(奉天より) 經濟市況 ○五(奉天より) 經濟市況 ○五(本天より) 經濟市況 午前の部 Ol 成人講座《滿語》「冬 村長超國亡 演藝(滿語)野春院、 月光曲(ロ)雨降で齊唱一、獨唱 ・薔薇色の道 日像月像 道中女仁義 萬五郎青春記 のや露路は つの眞珠 つの貞操 達事變 の泥靴 暴風 配本(實物書店の御覽下さい なる朝職 掟 卷 牧逸馬 菊池 寛 吉屋信子 中村武羅丰 佐々木邦 佐藤紅絲 吉川英治 白井喬 小島政三郎 久米正雄 大佛炎郎 子母琴含 長谷川伸 加藤武雄 野村胡骨 三上於克吉 電ニニロ六〇番 士創製の

(五)

(日曜水)





多防



フクダの防寒ショル
野球

ガキー本で當籤する大懸賞です。お早いがお徳!!

官公私立大病院。著名醫家御採用

ビオフェルミンは騰管內有害細菌を殺滅し, 膓機能を調整 せしむるほか、澱粉及び蛋白質を消化する作用を有し、腸 内腐敗・異常醱酵・毒素吸収による中毒現象を豫防するを 以て、膓疾患の合理的藥劑として醫界に重用せらる。

通常成人一日量0.9—3瓦 (3—9錠) 小児量は成人量の½—½量,食後分三服用す。

急性及慢性膓カタル、醱酵性下痢、 消化不良,鼓膓、常習便秘、小兒下痢、綠便、 脚氣, 老衰病, 神經衰弱等の治療と豫防。



に至りました。

本舖 **會時伊藤千太郎商會** 大阪市道修町三

せないのは理想と實際とに効果 近時肝液の加工品が如何にも効 の差がある爲めです。 ますが肝油専門の弊商會が發酵 果のある様に宣傳せられて居り

眼鏡肝油は發賣以來五 床的實驗に依る絕大な 工場に其他荷くも保健 る讃詞と絶對他の追從 權威者の科學的及び臨 拾年の永い歴史と内外 らる、各位は擧つて眼 められ各家庭に學校に 今や全く其の眞價は認 を有して居ります。 を許さぬ優秀なる品質 鏡肝油を愛用せらる」 と體質の向上に專念せ

愈々眞價江輝

此のマークとの肝油





北風寒

冬

支度

吉林省長

熙洽氏謹話

小白山の廟宇

皇帝の行幸な呼ぐ吉林省城内南方祭られた、その一つが今回滅洲國

鄉家屯間直通(大虎

初秋の香り豊かな

の名が樂し

海連町 電 22283 常盤滴 電 22041 沙河口 電 2540

スコツ

優勝

t

Py

由緒深き霊地

こさ等の特徴を持つてゐる

『高林特覧二十三日盤』滿 南県部院下の吉城河巡行 古城省長門治氏は左の如く 書帝陛下頃日奉天に御巡 皇帝陛下頃日奉天に御巡

手に除つてるた馬賊頭目。

地圖や書畵の

線電

淺田阪大教授が完成

前跳1小長谷(文)三米六〇

四(滿)一〇种九2松田

艦長司令官は二年以上勤續 聯合艦隊の新陣容

日満に呼び掛く

新京の百粁電波

シ第二日 派花節(東 派花節(東

泉)洋樂(ハルビ 整文は音樂(奉天) 年後六時三十分

年

掛合琵琶、滿流

來一日から開通放送

のローカル演奏 長帆辭及び祝賀演 長帆辞及び祝賀演

午後六時三十

額に鑑み各艦長戦隊川舎官等は或るべく新進の若手な披擺し原則さして二年以上同一地位に据置く方針に決 特別大震響を行ふここになり級五百萬圓の震響數を十年度繁算中に津上した、梅軍さしては過去の經驗と繋 【東京特體二十三日盤】非常時局に對應するため海軍は特別大流智を連續的に行ふ大方針を樹て明十年度1

49三日まで左のプログラムで 今第一日 午前三時二十分不一月一日駿行されるが、一日 豫定

つてと第二艦隊の主力第四戦隊には異動なく第六戦隊の青葉、衣笠、古鷺の三艦編制に加古を加へ四歩編制 山城、扶桑、榛名、霧島の四隻をも

張つてゐた網

上々の獲物御入來 は「機職を得た傳家何恵兵分除では、明市内に撒伏してゐるらしいさのり市内に撒伏してゐるらしいさの 占河東哈市で捕はる 供の土産を買はうさ思つて立 橋北寮に盗難 後四時までに又々何

大連市北大山通一四滿瓣獨身宿舍一

雨中の接戦に

滿洲軍惜敗

文理大戦に42

大学校は二十三日午 曾の彼れ版えざるため版はで四一版とナームの最終戦たる つて出場とたが期待の阿部大阪大阪大震士三日年 曾の彼れ版えざるため版はで四一

宛先滿洲

日

に締切り

日報社事業部

提田 師匠施茶 (及お茶の師匠撰田宗貞

山、郷家屯間の旅行者は従来必山、郷家屯間の旅行者は従来必山、郷家屯間の旅行者は従来必

のため、からない。

配りも好 あじま 成績

然たる原野ない の試運轉終る

趣れて大連・清鑑郷道史に融跡暗飛駅の一頁を午後五時二 すっしまった。居、屋具 あじあを展覽

にかいないのくり大 で後であった た後であった

客列車へハルビン

から實施 社議園の混合列車を旅客列車に 放め新星方面及び闡門方面市通 放め新星方面及び闡門方面市通 ではった。 対は関の混合列車を旅客列車に

H.

親を離縁

した拐帯犯

Y

共に親な一

ふのメモ

市内奥地須町二十七赤井敏夫(1)
市内奥地須町二十七赤井敏夫(1)
一井組に歴点れ働いてゐたが、二十三日帳奥地須町の留守宅に現れ
「俺は親希を離縁して來た、これからは北溝で働く」 聞てもやって飛

時頃になって総州より

はツェびつくり大勝ぎさなつたが さて

のツエスト

、チェッコスロヴ、 たさうであるが、





民間療法七百種 いより 9 響か見たが、観測所では右につ 十五日早 创 ~本格的寒さ

25日→29日の五日間

全店斷然面目一新の新安値の上に御買德品山積の大見切提供

ある

(大久保、松田 本 1 計画せる流線型列車「あじあ」は 本 3 二十七日午浦十時より午後三 時迄の間に大連職第二ホームに於 で其のシックな姿を一般公際に供 で割く市民の観覚な何ぐこさにな

2 =

(文) 3

一時間の記録 を 大統領マサリックの名。 大統領マサリックの名。 大統領マサリックの名。 さ シア革命の郭安につけこみ、 ストニアは永い間隣國のロシ 家庭用和家具 一掃ケタハズレ品 安い廉い全~安い!





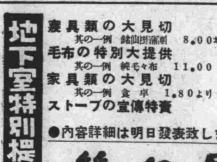
階特別奉仕 純毛シャツ・ネクタイ・靴下・中折帽子 **非人・ハンドバッグ・羽織紐帶メ組合** 草覆・子供靴・スリツバ・トランク等各種大見切

銘曲・錦紗長襦袢・錦紗小紋・コート・白・紅面絹均一大見切 背廣三ツ揃・オーバー・コーヒー茶碗・菓子器等各種大見切

開店以來初め

文具セット ・ 福袋其他各種特別提供

鬱油・蜂ブドー酒・ほうち茶・きんつば・鮭粕漬・白菜漬 かまぼこ・からわ・まぐろ刺身・よせなべ等各種特別提供



ての全店を擧げての大藏ざらへ

1

B

0

待望の口薫と増健の新仁丹

氣力を養ひ元氣を増す 胃腸を强健にして消化力を旺

h

VC

漂ひ馥郁、接する人に好感を與銀粒仁丹に「ばら」の香精を賦加 芳香



所業營博下森 阪大 舖本丹仁菜備常 進大 理代總洲滿丹仁 社會藥賣本日



粡座床米

入院室完備





(八)

玉

店 浪 速町二丁 目 職職 電氣 商會

對滿事務局官制

際係各職高等官にして事際失專任)一名(判任)

の業務の監督に開題地の管理並に滿

南滿事務局に左の四部を

のさ見られ

最後決定までに多少の曲折あるも試案で各省で相當実論もあるので

裁判権が何れの命令監督下に置か 登滿政治機構吹革に発派の領事

は治外患機能膨脹避を控へて容易、

要なく 現 行 制 度の維持を可さ 必然であつて、今遽に改革の必 必然であつて、今遽に改革の必 で、の場に改革の必 で、との時

新事部長川畑野官は許る 数地線皮問題につき大連地方法院

大連市長は二十三 に指載のため上京 でおしま

小川大連市長歸任談

本小川順之助氏(大連市長)二十三日入港たこま丸にて帰連 ・ 世界のでは、関東職会)同上 ・ 世界のでは、関東職会)同上 ・ 大学・正彦氏(同)同上 ・ 本様定と氏(小野田セメント販賞 ・ 部主任)同上

蹄連、左の如く

蛇角

「今も云ふ通り、今晩はひごく比。

見渡して、さも如がなく、腰なか 全美味い酒や、豊富な皿で、すつ つ

見渡して

を さこの 職能 あり 注目 な あこの 職能 あり 注目 な を に 臓察 官 最 並 に 触察 官 は 関 東 殿 地 方 駅の 監 管 を 変くる 献 皮 こ な つて ぬるが、 事 質 を を で に なり 微察 省 隊 部で に 全 権 大 検 変 る か ら 響 の 連 用 が と で に 全 権 大 検 が ま で に 全 権 大 検 が ま で に 全 権 大 検 が ま で に 全 権 大 検 が ま で に 全 権 大 検 が ま で に 全 権 大 検 が ま で に 全 権 大 検 が ま で に 全 権 大 検 が ま で に 全 権 大 検 が ま で に 全 権 大

全滿法曹界で重大視

現在の領事変列機構が不備な監か 一般に領事裁判の地方法院統轄は、 が配管されてゐるさ云はれてゐる、 の二家な中心に政府に於いても

理想案とされ、在滿法曹

滿新機

南満事務局に左の職員

要け直に市役所へ向つた 野標 秀課長等の出述へな

上陸後御影池民政署長、問野

呼ぶか、世界の視点は近にの

へ歩いて

か思はなかったであら

顔なし

海軍群令(二十二日附)

志摩 清英

補軍令部出仕

うすりい丸船客

新布石法さら見れば見らるとの

いた上で善處したい、御影池署長が州知事の有力な候補者に舉長が州知事の有力な候補者に舉せがらない、中央ではそんな噂は耳にもなかった

監督統制問

は司法権の殿正と公明を期する上 お同当日分は素統が何れに属するかさいふ問題 お同当日分は

現狀維持

法院と領事裁判

二十五日に行はれる模様である

檢察官の監督權

發國通] 政民職

球友会が非常な 関ではしめて標準が任然的

▲山田三平氏へ遼東ホテル支配人

三氏(正隆銀行常務)同

▲李石甫氏(寬城子商務會長)同購買課長)同上

治郎氏(滿鐵用度事務所

世

行 流

見路る

千青

湯もみ唄

だつてあんまりひらいわよ

橘分山田

子香

美麗ミ節題し

永井貴美子

| 淺吉氏(奉天關東倉庫長)

関僚か引揚げるこ

ことな様性とする

市政を擴充

大使直屬を希望

警務部長には反對論

今週中なるべく迅速にお會ひし、英國この會談が一段落こなるに

に治外法権が撤破されることが既 に治外法権が撤破されることが既 に治外法権が撤破されることが既

務権がはこの方面に補は

第二十三日 子ンドン準備館の運輸での海軍な機館隊の運輸に世界の海軍な機館隊の運輸

側の挨拶に次いで帝國代表松平大

一、 除外 除外 上門

問題

理概義さして軽られ、 法権膨廃の かふ説が大勢な支配し結局能なる いふ説が大勢な支配し結局能なる を方針である以上、 英大な費用な

ける、記會都たる英國 一、七時三十分(日本時一十分)英一、

に歸するここになるから事務の に職性され、現今の鎮事裁判の費 に就性され、現今の鎮事裁判の費 上告惑性権をも満洲國基地所

大縮小も 気れぬ、然し鬼

目は

▲小蘭良平氏へ住友製鋼所収締役)

REGAL

11月二十日全國發養

管証業も 5 一度(アハッ)管 絃 業 圏 大夫日 吉 丸 三 段 目 豊 行 呂 之 助

河內山宗俊(姓)伍東

宏郎

0

李(雅田 樂播)泉

建築保長)同上

七時着列車にて來述氏(奉天取引所信託

と地盤協定

標である、斯くて會談はなごより成る自國家を表

一表急速會見希問

次會談は一

日か



治代惠本橋 盛武 村本

直に實質問題を討議

軍縮會商愈よけふ開始

行發日三十二月十

治代喜本橋 人輔編 盛武 村本 人制印 地番一卅阿闍公東市連大 社報日洲議 社會式株所行養

聚 有光商店

防寒 **阪寒草履**

會議を奉天で開催って は二十三日午後三時 を製造を開催って は二十三日午後三時 である。 安東市民委員會

刊等の感情も私心もなく今ないまでのここであつて、そのな處に向つてこれまで進んで為、官吏の職責に鑑みその信為、官吏の職責に鑑みその信

誠に殘念だ

けさ歸任の

判任代表 機構問題に関し関

たが、その後西尾、間村正副参謀三日のはさにて南行の豫定であつ

四時半篑列車になる見込みである で、歸佐期も遅れて二十三日午後 寺田署長署員

に訓示

た、勿論吾々は「十分に亘り最早新機構に順應する」の訓示をなるたべき處は最も強 、其の信念 八時より全職員を講堂に集め約四 職務に精勵す でき處は最も強 ・ 一 ではの後来の できぬは最も強

曾見するこさになった模様

署員を慰留

三日午前七時餐列車で輸住面に同

同国は、今夜のかいりさ紙幣の敷されての紙幣を受取つた。彼女の賢けないのである。宮子は、遠慮なく、そ

東京日本橋區本町一丁目

價 定 五貳五廿 十 圓圓錢錢

中村信治商店

職務に請動すべき盲 に従い従來の反對運動を中止しに現はれたのだ。 に従い従來の反對運動を中止しに現はれたのだ。 「こ後い従來の反對運動を中止しに現はれたのだ。 「認い後来も、とい様」ら、深らで牙の鋭い肉食獣がの結果を報告したる後 「然に瞳が生き~~ご難き、感謝」の窟から指角感れ出したこ思響講覧に金署真を集合、署長食識した、較べて見たに遠ひない―― して飛び上らうこした。恰も 難つたが、椅子へは坐らなかつはいた。 「は、、一ででは、不幸な人間のやうな表し、、道ひついて来たのな変見し こて飛び上らうさした。恰も女豹ってすぐに離した。野山はびつくりてすぐに離した。野山はびつくりった。なも、なれくへしげに後か 二局長けふ更に 止副參謀長會見

源を呑んで巡り

はり一足先に

不顧見低官代

書の酸に行つた。勿論そこて、この に行つた。勿論をこて、この は、青いスクリーン に寄子の肩に引きました。 のである。常子は、遠慮なく、そに、握らせなければならなかつた さ、さも、なれり

時が仲間をふりい

首にまきつ 立の黒き風のだ

ない。漁上、眼暈がする。こんな状

から、貴方を救ふものはただ

題がガンガン痛む、クシャクシャす

テーリン 飲またきや

絕對心駄日!!!

野山は、この嬢だちが、ごんな に無遠慮に、またごんなにもつこ く自分に、もたせかけて来たにも ろ、それを憎む縁にはならなかつ ろ、それを憎む縁にはならなかつ 深く吸ひ込んだであらうが、これで全後の 度暖れたらごんなもので = 銀座の夜氣な 郎書

銀座の人々へその六つ

三上於莵吉

な青春 (21)

=

頭がガンガンしちゃあ *-駄目、駄目

コロムビア大衆盤 子供ト後アジアの

名倉製作

制 南滿事務局官制 洲國大使館に南滿事

がた處理し部下の長は大使及建

務局

大連入港軍定のうすりい丸の電なる概念諸氏

のやうなら

遺憾な事には筆願が味べね。

施も無事な同時で に命給が、機構問題 を表した自動車の

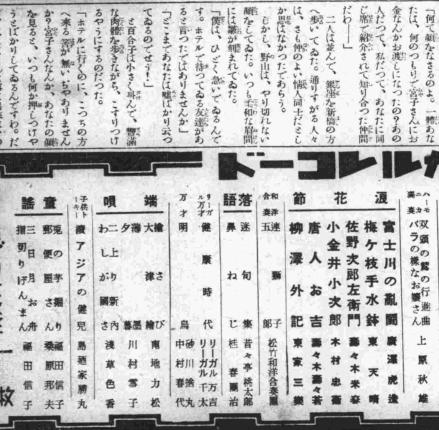


来る答が無いちやあり さ、旗和な原任つ めに、こつちの方 あなたの



な肉體を歩きながら、

では、ひごく急いであるんでか 「僕は、ひごく急いであるんでかっまテルで待つてある友達があ つごこまであなたは嘘ばかり云つ **辿んで、豊浦**



催主社本

日満支を結ぶ藝術交驩

現代支那美術界の最高峰たる

西湖冷畫社書畫傑作巡回展

本社では現代支那の美術界な

新念歌歌の悲劇館作遊師展覧会の 主催の下に支那現代名歌展覧会 来連か選へて来る二十五日より二 本社三院職堂において開催する

早慶戰應援

"軍縮"會議

墜落

一丈あまり

宛ら武裝解除の協定

自動車遊だ

せ 送る、総籍はすべて三尊であるが 一 業係に二十六日整鹿返に申込めば

豫定の如くいよーへ来

日養便法に、新京は鉄道事務所營業係に二十五 大連は鐵道部警察課付急試乗係に 住所、年齢、性別、職業を悲談し

は十一度にまで急に低下し新 を見せ、奉天では同時刻頃かい日が續いて秋を築じむ人 國神社祭で外出した兵隊さん 大きばせてゐたか二十三日 たちの帽子にひち/~と降りから幾分寒くなり正午の温度 そゝいて軍國首都徒冬の風情から後とはいひ 京では午前十一時過ぎから今 ら

奉天鰲里は同日一三時四二分、 奉天鰲里は同日一三時四二分、第三區間 は新京奉天間で二十九日八時四 の分新京教、十二時一八分奉天 着てある 第二品間は奉天新京間で

すなは5第一届間は大連奉天間 で二十八日八時五〇分發車、一 三時三七分奉天着 ハも無賃で乗せる

田崎り 往復する人の盛 日の乗車券は記念のため試動者 ・こてもよく締路も急行料以外は登 はさに接載するこさになる なは関榜申込みさ小兒の乗車は なは関榜申込みさ小兒の乗車は はさに接載するこさになる

本際下の領更たる遠の領更適に自愛的機構解に農村能験解決に乗り出したことは今後の電更の動師を物語るものととて注目される 電影に呼びかけること、なつた、この氣運は早晚各省に波及表面化する概勢で能更が概態依然たる感際跳流に飽き起らなき狀態に辿ってゐる指標、內務省全高等官は自發的に半年間爆給の五分離出積立て斷行を明合性類態有機跳に辿ってゐる指標、內務省全高等官は自發的に半年間爆給の五分離出積立て斷行を明合性類点が影響に避び打開策を職勢中であったが事態は最異成態の餘地を發きず、農村に現金と食糧をばら撒くほか、東京特電二十三日發』解廷に際ぐ襲政は今やざん感に吹きつけられ、後職期を擦べて農民の額には生色さへ見、東京特電二十三日發』解廷に際ぐ襲政は今やざん感に吹きつけられ、後職期を擦べて農民の額には生色さへ見、東京特電二十三日發』解廷に際ぐ襲政は今やざん感に吹きつけられ、後職期を擦べて農民の額には生色さへ見 認可がおくれて、欠伸

試乘運轉に

飛ぶ響した大

阪に飛来

版では、 した標本版の自豪族は二 した標本版の自豪族は二 を選出力流に耐ふ筈であ のである。 を表する。 をまする。 をまる。 をもる。 をも。 をもる。 をも。 をもる。 をもる。

學生締出して

カフェー街恐慌

多変さはだいぶ南にまて来るでせう、午前十一時までのごころでは降雪地帯ば右のごころでは降雪地帯ば右のごころでは降雪地帯ば右のから知れず祭日附近にまで、大連には今夜か明朝までに冷雨がやつて来るかも知れず、まだ雪にはならも知れず、まだ雪にはならしている。

神出し以來二週間、これに一十二日登画通』學生のネ

り象味にありさいふのだから いよく 南浦も冬らしくなつ て来るさいふ響だ

南に迫る多の跫音

今夜か明朝までに冷雨襲ふ?

新京は朝から雪

が成立に織され

の之等な

さ一安心し

無事の診断をうけまツ

て全く技術未熟の為さ見られるとなってならず當時の事情より見なってならず當時の事情より見なってならず當時の事情より見なってならず當時の事情より見なのである。

乗業微傷さへ負はず

二十二日午前十一

たがそれでも続になる様におつこちるさ同時にガンさ頭を車體にぶつつけ一時はボーさしましたが體に異財のないさのことで安心しまじた、あまり之が大きく横がらなければ良いさ思って居ります、病中の夫が心配れざして機にさはることでこれ程申離けないことはありません

に発着され 十四哩太

濠洲一番乗り

經過時間五二時三八分

空前の記錄樹立

十一時間五十八分を三分の二十版とた、同機は途中片方のエンチを と從來の記録たるサルム氏の百 一條連絡飛行に空前の新記録を樹

ね る

時計 四十の寄附申込み

五百

=

軍縮會議か三田の「やまさ」

告の掲載

連に出来るこさについては既報の 連に出来るこさについては既報の 連に出来るこさについては既報の をは、その被代領事さなるべ をは、その被代領事さなるべ をは、といしテ融會 はアドルフ・ルーテ氏が今朝大連

ニアの領事館が新ら

り東京芝公園内服勝コートに於い

て成る程度の利益を見や 場送別排球

大連市へ時間四百圓のドイツ製工は時間が四十を特別の上ででは、本時間が四十を特別したいさいふ様がこの申し出には條件がついてあるので「それは誠に結構署であるので「それは誠に結構署では、大連市の方が、ル氏の申出てといふのだが、ル氏の申出でといふのでが、ル氏の申出でといふのものでが、ル氏の申出でといふのものでが、ル氏の申出でといふのものでは現在中國南京市の市街各所に

復許可するさいふこさになるさ市この種の願の出が経動しそれな父 先づ時期を見ることとなった 考へて置くことにしませう/と一 滿鐵聯合軍が

果さなりはしないかご豪盛/まあ中は廣告が氾濫しを拾しかれる結

天気予報

干潮(午後四時四五分 滿潮(午前) 〇時五〇分 北の風雪驟雨模様 各地溫度

食 チリ料理

村 商



機関車に搭乗その常能を試す所あ がは自ら職工服をまざつて流線盤 がは自ら職工服をまざつて流線盤

はぬ易者南嶽 板の代

(=)

内務省全高等官の義擧

俸給五分を半年間

さらに全社會層に呼びかけ

國民の協力を求む

中央公園遊戲場

道* 人が二本の計画を

なつた

白

大阪發延期

二十三日聲一訪滿飛行

二月十年九和

奉天の招魂祭 天に立去 つてるた 田邦夫君の十七歳で十四歳 してゐる悲懷な感遇であれた文は心配の缺り歌狂、

外國船員暴行

州內豫選

ーパーナイフ)な贈ることになに贈呈するほか記念品(銀製べ

暴走列車

歸還の途につく

路大連へ

さ奉天署 馬淵孃あす 羽 二日夜更市内家の 開催版

より大連運動場に於て

月三日午後三

十四日和田出鉄、松本機を上四日和田出鉄、松本機を大野のて居る島淵でふ子さを野のて居る島淵でふ子さ (土) 日七千二 (火) 日三十二 (日) 日八十二 (水) 日四十二 月十 (月) 日九十二 (水) 日五十二 月十 (近順天雨) 始閉時十前午 (近順天雨) 始閉時十前午 (近順天雨) 始閉時十前午 場 兵 練 軍 毅 点 (学場入付品景) 種二の間五金 券票投馬勝 (引割スパ電流・車汽復往間順旅連大) 年は特に全國中等學校ラグ

白菊號を追うて

大會における試合成績

刀劍鑑定さ

の大陰をおはされる等大郷さこな一つたが急報にかけつけた警官のた。 大陰をおはされる等大郷さこな一 拓相優勝盃 對文理大戦に 金を開き一年 お 大會開催)の途、旅順戦勝見撃 り同氏を招待し刀剣に闘する座談洲刀剣會では二十六日午後五時よ

補血

素

/偉効的確) 絕對無害

油谷炒

樂商店

Y. O. P.

連鎖街

職風水常義指金募集の映響會を市立細亞婦人職盟では既報の如く近 純益百 務所(電話五八〇七番) 風水害に奇附

明日は是非

染織名華展覽會を觀に大連商工會議所へ

お出で下さ

明廿四日限り

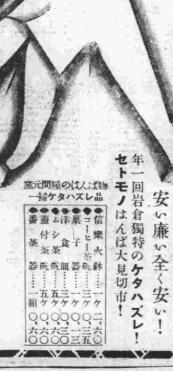
で御座い

ます

重鈴木吳服店

高橋司長一行「新京電 小學校で開催中であったが、

常で流の目的は単なる巡航であるされた。 ・リニ十三日午前九時大連藩に入藩 ・た、四日間発泊の豫定であるが ・た、四日間発泊の豫定であるが ・大・四日間発泊の豫定であるが ・大・四日間発泊の豫定であるが ・大・四日間発泊の豫定であるが ・大・四日間発泊の豫定であるが チハルに 築かれた



一戦たる滿洲中等學校選手機大会祭室の滿洲中等學校最高のラグビ 中等學校蹴球

浪華洋行年 お待ち兼ね 0

り大々的に開 全店を學げ ザ よ

催

回日

てかりますが、あんな童は、見たいと思めも、たくさんの童を知つい、お話ができません。…

年は、首を振つて

それみい。酸はうないさ云ふがってがありません」

つたさかいふその土偶像を奪って「やい、やいつ。あの餓鬼めの作

新興東京撮影所

經路椿 油

かどや

大子

「べつに、酸白いこえではござい

ないまで放して、 「小野といチで放し

くな童ばないぞよ。第一、まだ乳

かげらふ日記(四)

られてゐる三體の御像の非凡さ、一凡の和子ではこざいません。作 それしきの事ができぬなら、わしていまかして、臓病かぜにふかれて、 さ、整の轍に、片足をかけて、が行って踏みつぶして見せる」

都山流一心會 演奏會

回!

金州

甘井子無賃配

から野ひ、和日は阿館さも から野ひ、和日は阿館さも

少年は、赤い口で嘲笑った。 の像を土で作つてぬるのでござ たのかし

誦念いたしてゐる姿の氣だ 脱きはしませの。 をはじませぬ。……や

た。主命さいはれて、家來たちは、の腕白者は、身装こそ小さい

に力が全然缺けてゐる、こ 海洋猛闘映書廣瀬恒美主演

絶魔映畫の秋醋な思はするものが一も封切さいふ賑やかさで流石に

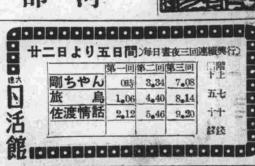
がはごうやら名作「富岡先生」の域 なほしさいつた感じがする、観を つれて理舎より上京する、都會の 舎の友を助けやうさし 態友は皆田

会の友を助けぞうさして、この感謝が生生」を に懸の仲立ちをする、さして漸く に懸の仲立ちをする、さして漸く に高端先生」を離れて「奥太者呼

め三十餘氏で、雷日の演奏番組左 り銀定の竇工選れて起こに ・ 本曲八千代▲ままの川▲秋の 旬さなる見込みで從つて明 ・ 章葉▲本曲紅葉▲磯千鳥▲船咀 ・ 章葉▲本曲紅葉▲磯千鳥▲船咀 ・ 章葉▲本曲紅葉▲磯千鳥▲船咀 ・ 一覧である。 ・ 一覧である。 ・ である。 ・ でる。 ・ 邦畵各社の映畵 獨立プロも堂々轡を並べて 絢爛映畵界の秋酣

月封切の

産



バラマウ 曉 河津清 **至三郎主演鈴木澄子** 櫻木鄉子助演 ント超特作・ 英治・週間朝日連載・阪妻秋の Ė 全發擊日本版 應援 良子・主演 台

原作吉川 阪東事 能豊田六十 借入四〇三電 市 (ケ良へ産)

最高珠玉篇

滿洲の

寒さも追々迫つて参り

ました、

御愛顧に

お

ひする為め奉仕的特價大賣出しを催します

是非定評ある

滿毛製品を御買上げ願上げます

布毛

價

賣

胃腸を関

わさぬ理想的頭痛薬以上!しかも

品供提格破 其 女女婦婦婦婦婦 他 ^與學 生人

人子子子子

---四--四 四〇九五-五-〇〇〇〇〇〇〇

○冬の御用意を此のチの恒伽以上に思い切っ カサズ御來店下

ン氏主演

滿 停前) 百

貨

連市 町(浪速町電 御買上げ金五

圓

毎に中央映畵館御觀覽券壹枚宛

月二十

日までし

九

日

間

限

お差上げ

たし

ます

七七 店 九番

親三小小同飯茶コ 一四二 西高高高高 五四二一一二三二四五〇六五四〇五 ラカバ洗テ蛇コ御薄花洋コ ン 選 1 数 1 ニーン灌1ノ テ縺 食 ボー グテヤケル目 ラ ツ 利御マ同同桐 食水其久 袋ン枕ン掛象臺臺端臺皿トの箸箒板 升升升類 - 五三M二O - 八三OOO

午前九時開店午後五時半閉店

業)

廿五日より廿九日ま

0

爲

め

間

取揃へ破格大提供!

の見

切

品と突飛な堀出物

市場進出を期待されてる。東に野抗して行くものさまに野抗して行くものさまれた。

轉換期にある

るは探第上有利なる農作さするに當り最も困難さ

問題も近く解決を見るものご翻測 前にあるものさいはれ一般には同

等を見ることにより羅進的な粉水のパレスタインさの取引突然成立のパレスタインさの取引突然成立の取引突然成立

前日對比較

上海為若に解治セオー央銀行の基値襲見る確實に乗られ標金視高

9

装飾材料

徽花造

上海標金

で無迷いな発れないが で無迷いな発れないが で無迷いな発れないが

滿。洲。林。檎

州内外を一丸ごした

大局的見地よりして日帯經濟プロに難し多分の理由を持つさしてもに難し多分の理由を持つさしても

引際反撥し

販賣組合設置の要

| 百三十一萬一千喇で昨年同期に比| | 電における聴造中の艦舷艦喇敷は | 電調査によれば九月末現在世界各

合其米瑞伊和

四三点三七

七 五五一七二四 六九四一七〇

世界の市場目がけて鑑進

ソ職邦斯業に対

今より 之が野策

北洋和

各国別の順数を示せばた

十銭より二十三日の安値百二十個六十銭より二十三日の安値百三十五風六

鈔票は安値後反撥

新造船倍増した

本年度の

世界海運界

で、 満洲画に於ける諸般の経濟建 とで、 大阪の経済を ので、 大阪のと ので、 大阪の ので、 大の ので、 大

宮駅政部中央銀行等議職総要路さ 京駅政部中央銀行等議職総要路さ

るわけて、総二 の概律原料も大 の概律原料も大 の概律原料も大

九三三年の一萬

こさんなつた

【新京電話】朝鮮銀行總裁加藤敬

加藤鮮銀總裁

、日満統制經濟に關こその根本 大策を速かに確立公示せられる 方策を速かに確立公示せられる

り高田祭島正副倉頭長永書記長のり高田祭島正副倉頭長永書記長の

ウ

工

經濟近狀

日

興安北分省方面の

毛皮市況

状に鑑み滿洲經濟事情、輸入事乃至神戸から仕向けられてゐる

の主要養養貨物製蔵に記名別左のの主要養養貨物製蔵に記名別左の間の主要を養養しいません。

・・・・ 支那側の政 策が割合に利 の下げ

プマ 七五三一十十現 ロゴ・月月月月月月初・棉 11-印

足がついて來

熱河省進出

圖們驛發着

天津地方の

福奉公司

来支貨替 四州之前 来大賃替 四州之前 来大賃替 三八山

紙幣發行高

大新東新 (大型 1900 (大型 1900

展解に活動するこさゝなつた を建設するこさとなった。 を建設するこさに決定するこ共に を建設するこさに決定するこ共に を建設するこさに決定するこ共に を建設するこさとなった。 を表して機能に表情を新設して機能に活動することとなった。

品名 自八年九月

取引照會

| 大津 | 北支那に於いて各國銀行 | 大き筋の調査によると大約左の | 大が幾何の級性を養行して居るか | 大が幾何の級性を養行して居るか | 大が銀行 | 大がまる | 大がなな | 大がまる | 大がま **帯見當ご見られてゐる** とに對する準備銀は約二千五百萬

0

大豆與地筋賣

調

越樣式店

内地變らず

株

◇定期前場〈銀建〉

定期の前場寄は大株同 合

麻婆 本地休會、常町は銀次第 の市況で銀の引高につれ質系をみ 対引際聢りであつた 銘柄 約定期 値 段 枚数 が引際取りてあった 日 一二月限 三九六 二〇 同 同 三九六 二〇 日 世本高 四萬枚 総糸 米棉現物同事、先限四安 米日為等十五仙高、大阪三品は 弱保合商販を入れ常市は資質双 方共氣迷で見送る 麻袋强保合

借九六八七話書

機能運即河場市區大

皮 軟 梅 性 唐 特 素 病 疳 病 疳 病 疳 病

器 療 枚 生

神戸期米 前場前 前場所 前場所 前場所 前場所 前場所 前場所 前場所

月 新100 新200 -1月 新200 和200 -1月 新200 和200 -1月 新200 和200 月 新200 第100 月 新200 第100 月 新200 第100 大阪綿糸 月 前場寄 前場引 月 111100 111150 111,00

限 空台 大阪棉花

画幣(先物 分、公 沙門教司(現物 10元) ろ 罗

世代 (1970) (197

今射越屋

商店 帮 嘅 鏡眼方處。 製調任費

(四六版二百五十頁裝釘華麗)必須参考書、株の知識

特別家族券を發行致します、 路

御利用下さ

0 御用 町 喜久屋 六

御菓子

水渡田田岡 作太利 潔一郎八郎

也遂に産

御入用のお方は電四六四八番へ 干 金州澤庵 大 岩 根

共 進 洋 行 10.

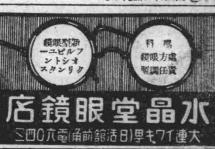
話











商務官を置き

湖の地勢では例外解天災さ見る総書と

他大阪の風 大連方

税關辦事處を設置する

對滿關係の密接な大阪に

満洲國の新施設

入貨物の大半が大阪な中心に同

四の重新も崩し、暫く無風狀態に おる米國の態球策躰徐や圓爲替の 茶着き目 先下げ一服の 融版さな

洗毛工業も不活潑である | (本理)

十月被旬調査による羊毛、毛皮ハイラルンハイラルンハイラルンハイラル

林檎入禁解除を

商工會議所會議に持出す 大連商議の三提案

一、 関東州並に 満洲関産 単果輸入 禁止即時解除方關係當局へ要望

一 三八 九九 二 三八 九九 二 三八 五五七六 二 八 五五七六 二 六 三九七四三 一

ごから退蔵が 行が総替統献者と ・完全に半耳つてる

れての混戦、

金

州

種、魚粉、骨粉、蠣殼肝油 を表面のピー・バ五三四

の買辛棒を主張したい の買辛棒を主張したい の買辛棒を主張したい の買辛棒を主張したい。 の買辛棒を主張したい。 の買辛棒を主張したい。

崎

御買求め

販賣員が御伺ひ致しま 座

惠

男女優六十餘名

秦天默(夏· 英) 地相

各続腰の挑徐午彩館に弾艦した後 を続腰の挑徐午彩館に呼吸端州圏 する意、戦、實、矢田等の浦州圏 する意、戦、實、矢田等の浦州圏

鎮撫工作の進捗

昨夕新京を出發す

各警察署員

の辭表

應局長

進達か

意の勧告至難

・ 会見が遂げられた、会見の内と

慰撫方を懇請

前にして英米融國は既に日本の「模様であるさはいへ現態の海戦勢」では早くも協識を蹴嬉して居り十三日から端まる日英集備会談」に認める外なからうこ考へ始めた「本を終復せしめようさして英米「ロンドン二十二日養国通』蔵々「國院平等論を何等かの形で原則的」力を成る可く現狀に近い戦争で

波瀾を豫想さる

菱刈長官と三局長

一時間餘

满

國

は

斷

定

條約を提案

ロン ドン豫備會商始まる

为頭松平 我軍縮方針大綱說明 比率主義を山本代表痛撃 大使から

マ首相挨拶を述ぶ



會商出席者

京特電二十二日發

政策協定を促進

政民委員懇親會開催

の公表中止

不侵略條約 全然考

自然退官期待 を対していってその點を を対していってその點を を対して、 をがして、 をがして

版 製では二十二日午後一時から 製まり製長の意を整して極力思慮の 態度決定について終三によき大場 態度決定について終三によき大場 を表したが、全器買は何れる概念 の意思なく更に署長を通じ継表の



地農家の窮乏

美麗によって脱骨の施鉄が等院観点って脱骨の施鉄が等院観点 運動は政策で地盤の協定に進ま



リグナイト (利孤内透)無音ギヤー 無音リグナイト(體)歯車の特長

一部では樂殿してあるが問題はことであるが問題はことであるのであるが問題はこと

飜さず

であるさなしい地域

曲。耐水。耐熱。絕緣 5。耐久力强大に - ハイド品に比する尚能く數倍 リグナイト(利孤内透)工業株式會社 總 代 理 店

大阪市天王寺區上本町七丁目六五



汽車•電車•自動車•椅子用•各種 シート用スプリング専門製作 椅子張材料一式

誇る斯界最高級品料の場合の

販賣店募集

竹原スプリング製作所 大阪市天王寺區北日東町一四五 電話 戎 三四六八番

报替大阪四〇九六七番



特約販賣店募集

「抗らず更に維持國間に一點の既合症経尿・断思し、 含まる。 母ほ臍田外根さん。「休車に関する依約者とくに宣言な興整養表する用意を有してゐる、母ほ臍田外根さん。」「明日十九歳前せらむる如き事態を避ける方針の下

は日英米佛伊町に建巉競争の反動時代な拠成せらむる如き事態を避け、 ・・つて居るが不幸にして英米側さ我方さ正蔵輸送し倉棚不調に終つた

に重にしたものであつて同僚級の効果を強化振光しこれにより四國間に新たな平和はワシントン会議による日英同態配乗の代りに運物されこれによって四國間に選生再提識することを認念し、この際現行大平洋方面における島嶼たる原地及び鍛地に再提識することを認念し、この際現行大平洋方面における島嶼たる原地及び鍛地に再提出することを認念し、この際現行大平洋方面における島嶼たる原地及び鍛地に再提出することを認識した。

ロンドンパック

走 主 注 語 理 記念特别廣告對

スキ

ッ手提袋發賣元

野防 布

六條 七三丁目

電話 戎五七十

数理に開着するもの 質金――大連・卒天、鞍山、速 質金――大連・卒天、鞍山、速

、敦賀な經で簽録に歸着す、四平街、チチハル、圖們、四平街、チチハル、圖們

■門を網て登録に時着するもの大連 門司、神戸、敦貫、清津、大連 門司、神戸、敦貫、清津

聞して美論
な集中するであ

内鮮滿周遊の

六徑路新設

北鮮鐵路管理局案

一蘇聯大使の提案に

外相から反駁的回答

注目される次回蘇聯側の回答

使は去る十五日同大便より殿田外根への็窓に繋する甌谷を求め之に繋じ外根は満洲國代表部の愈鳴に暮き玄瞻瞻反数の意味を持つ左の【東京二十二日發國通】ユレニエフ大使は二十二日午後一時三十分殿田外根を訪問、四時遍離去したが、この金篋に於いてユレニエフ大

意味に越大な膨脹的リソ側が大風に如何なる風鬱を許せるか体視されてゐる。という、他のて今日思鬱に難し五大便は、今日の會見では何等意思表示をせず本國蘇府へ離滅の十風警でる宣答へた、他のて今日

がよりの一般三等は二 楽場、 奉天、 鞍山、 遼陽

に附されてゐるが検主呼當兵令年 に附されてゐるが検主呼當兵令年 に附されてゐるが検主呼當兵令年 とは、内容に殿が 日職談宗子とた とは、内容に殿が 日職談宗子とた とは、内容に殿が 日職談宗子とた の東支豫算も同 だったから担ったのだらうが今 がの近観表される見込みである。 がので第十四記載の分さ共に十 できだ年後六時宗子、内容に殿が る、なほ螺路想局の東支豫算も同 だったから担ったのだらうが今 ので第十四記載の分さ共に十 營業收支豫算查定完了

満鐵の改組問題 心配は要らぬ

他に財源無きため

閣内にも増税論 擡頭を豫想

一般凡調

々に對し却で御迷惑をかける

税關吏の怠慢

断に輸入申告書を提出のため

その転御線をを願いますへ

に臨む態度 海軍豫備會

說

随つて日本の条

滿鐵十年度配當

今年度同様八分か

急設電話苦心

税随行の時機待望さの親測あ均衡を言明の手前、事實上は

新任北鐵監事 少な要望してゐる

同

モスクワに引持げた北郷監事マゴ

諸株軟弱

引中寄 期 期 知 期 第 單位十錢)

妙票聢り 軟弱につれ前場

滿洲化學工業株式會社

瑞西高級時計

四三四四四位 0九二0九五段

屋

年一回の警文拂皆樣御揃ひで

つて、地て不公平な紹のた人は様なする

◆一日本人税關更が出動したのが

思つた、窓口には確に受付時間 午前八時に行き八時四十分にな

八時四十五分、

第六師團行賞

近く發表

近畿地方風水 害義捐金芳名 **湿浪速町第一、二、**

十七圓六十八錢也 符信 二萬二千二百五千二百五十二百五十二百五十二百五十三個十三錢

九月位

特に二十九日は開店記念當日に限り二割引

大連市磐城町八番地(浪速町下

御禮申上ます 開店一周年を迎

一十五日より三十一日 祝謝 恩 の

日まで玩具人形全商品二割引

後場市況(世三日)

三五九〇

一八五

九一〇

昭和九年日より第二回定時株主總會終了の翌代の名義書換を停止するの名義書換を停止する。

△最新式米闖製 新品 △スーパーペテロダイン 五歌 石大脈質にて質度式盛限り早い勝 市内伊勢町渡速町角 下成ピル三階 横 八 大成ピル三階 大

廣告部 電四四九一 翌日迄株

#理士大内成美 特許事務所

ヂオ賣度

移轉御通知

十月二十一日
中別當事務所左記へ移轉致し候間此段御通

大連市伏見町五 十四番地

篠原 神經痛の方に大連聖徳街四丁目大黒屋銀店 のカー境水剤を球に肺、ロクマク

堂

周年謝恩大賣出し

した事は皆様の御引立の賜と厚く

0 界各國酒類 本ケ 食料品 + 9

本各地名産 较 数

Joy of the Tasto

二三五三 割五十 終 均均 引 一

廿五日

五三御祝着大賣

場問人大島 新新新新柄柄柄柄

AAA

AVAVAVA

「て焼車も人の増加に正比例と 要乗』「安東狭と住む家なと!」

を!」の聲に聴じ安東一のい

出來るぞ大

住宅難安東の救ひ

に於て開催、参加團體は昭和製

野抗試合は體育協會の主催にて二、消滅道場高野和土並に綿原教士の優勢中常全転山創道團體一選手は各組より七名を選出す場

全鞍山劍道團體試合

き、しかも氣温 も例 年 期から秋季運くまで好 期から秋季運くまで好 がある から秋季運くまで好 がある

日

買業團優勝

共產黨

V

、
迄祖先の地を護る。
ど

二源浦から宣言す

奉天全省

名は次の如し

工業實習所生

教育總會

五十八縣の

營口、海城、復

先祖 の白骨を埋めたる満家に住む決心である、尚ほ小朝鮮主義に局限と居るよりも満家開き義は自主的且つ積極的である故に、君等の立場で異にするが故に宣言す 一、吾等は集團機場を一日も早く を職し、吾等の同胞の生命財産を がため、自衛園並に挺身縁を組 がため、自衛園並に挺身縁を組 がため、自衛園並に挺身縁を組 がため、自衛園並に接身縁を組 がため、自衛園並に接り縁を組

豐年滿作

好天に特作物も平年作以上

単並に中國共產黨海 が 難。難避三さりのち行願。東邊 に人人難源!柳風新れに 職邊 生上が オ津河れ お、 農の 道 活る 多るに 繋えんよそげ 横江

人一同

軍部と民會合同 錦州懇話會を組織 見えず職降れば泥濘さ化し歩行甚 職五式做は灰高濛さなり一度風吹 でする窓でありは衛脚町の往後 **有意義な一歩踏出**

巻き古関建設事務所長の古かなし次いで伊田會長 る事も多いのでこれが吹修は各だ困難なのみか市街の美観を損

學一八

プリス以 を 伦公木 運動に黙し種類では

中野紫陽會是外代表者數名は午後
方委員會、影樂協會は二十三日各
代表者會合職合會議の結果、伊藤
代表者會合職合會議の結果、伊藤
地方指低、瀬戸地方委員護、影樂協會は二十三日各
場

躍進的成績

警察電二百名の辭表を一插赴連し

大津警務主任は二十二日午後六

て善いの対策を中止し聴評に至る波は「【錦州】目下假繁葉中の凌瀬曠政 | 扱いにかゝる九月中の寒陰密ならなの | 一家 四名の | 「本の |

關東廳職員留任 各地に運動續 極力自重方 場局長に黙ってる。 山懇請 街でも慰留運動 力を懇望 々起る

熱河省凌源驛の

滿鐵消防隊分離第一年

宣傳

廿五日演習を擧行

蝕まれ行く

與へる更生

安東平民工廠の努力

を整ける

いふ敦酒機關が八道溝

再提出

人院應需

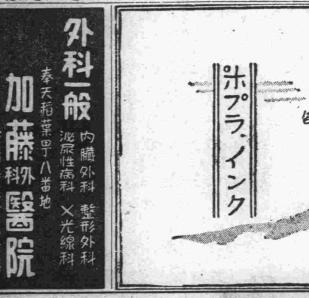
悪談の上辭去した

なる發展を物語るものでして各

「編光」凌灑の電化作業はその後 婦人館でも館場代表して聴聞した。 一日から實現 一日から實現 山圏の各館成療院に随った、なほ 兵塾間に奉天、濃蔵子、海蕨、選 兵塾間に奉天、濃蔵子、海蕨、選 來住者の觀情は恰も公主領の開放 部配書動力元の変電所も既に完了 教授回転況來の呼びに人意か煽り のみ市内に九分九厘まで完成し一 並に飲食店界の狀況に本着以來常 内外線三事は僅かに曝方面を残す のみ市内に九分九厘まで完成し一 で放食店界の狀況に本着以來常 内外線三事は僅かに曝方面を残す

大樂東の車を無免許運輸手舎正南建天郵政管理局前に於て千代田通り建天郵政管理局前に於て千代田通り 衝突と電車を破壊したる電車の前を横駆しやこ じく東行中の吳希聖(Ta)の運動で(Wan)が運輸し城内に向ふ途中、同

益金に関西風水害義捐金に充富 日午前十時より社員俱樂部にて 日午前十時より社員俱樂部にて - 二日午前十時から旅順警察署来樹組合旅順支部臨時總會 二



八縣の教育分會長ブ 教育に関する

職では能じ物を試載し種々準備中民會解設以來の盛事さては下各方

を含めているというです。 他に振はり民衆なして不安の念を に振はり民衆なして不安の念を

北陸門前の茶屋繁業せずさ

撫順選炭競爭

東郷が一等

誠意を披瀝

留任を懇請

金州の各團體

三ケ月間に疎り搬物な勘合りもされた を探院所選院競走に七、八、九の を探院所選院競走に七、八、九の を探院所選院競走に七、八、九の を探院所選院競走に七、八、九の を探院所選院の品質向上と業務

だけれてぬたがその結果東郷採 大山坑に決定した

孫氏の美學

海邊警察合併 遼河警察局ご

が井二日本社会局に持続されて、本本の、生徒代表さして能見大重君であることにより敷地測点の講禮金十国を開かれていることにおいる。 が井二日本社会局に持続されて、本本の体記では、生徒代表さして能見大重君 風害地に義金

竹談部新設 口滿鐵社員會

| お事に決定器訳その他を繋ぶ署に

山海關忠魂碑

三日除幕式

変異警院出日表演と、 事実に関する性を奉仕事項に関する性を奉仕事項に関する性を奉仕 事項に関する性を奉仕 事項に関する性を奉仕 一、結婚に関する相談 一、、集育に関する相談 一、、集育に関する相談 一、、其他一般人事に関する相談 等で社員に便宜最常に関する相談 で社員に便宜最常に関する相談

社員の相談相手になる

吹く秋風に悩む 公主領における昨今 した飲食店

强盗の手引き 物騒な同居人

ナルボンタンアダーコ

オオイチー オイイシイ イシイ キナナ

(その三)

・ 一十七年間の経験薬で効能正しく少しも副 作用を起さず、誠に安心してのめる薬 僧 送利十五銭、海外四十二銭 大八用●子供用あり年齢明記されたし 大八用●子供用あり年齢明記されたし

電日に山海臘日本居留で を下し多數名土を擦ボールを下しる数名土を擦ボールを下しる数名土を擦ボールを取る土を擦ボールを取る土を擦ボールを取る土を擦ボールを取るという。 に見上げた 好果を納めた作興週間 への意氣 宇佐美會長語る

有意義のうちに二 有意義のうちに二

『金州』 金州市民代表市民會加世 東地東は二十二日午前八時內外總 東地東は二十二日午前八時內外總 大学が顧問、松

電響り 警日市に居住する前吉林 電気に於て父君の長調視さして知名 宝に於て父君の長調視さして知名 宝に於て父君の長調視さして知名 まりまして二千餘元を贈呈したが の即さして二千餘元を贈呈したが

本 日光づ前記載には午前十時氏政業 日光づ前記載には午前十時民政業 日光づ前記載には午前十時民政業 日光づ前記載になりませてあるが之 に留まつて貰ふのが至常であるが之 に留まつて貰ふのが至常である に留まつて貰ふのが至常である に留まつて貰ふのが至常である に留まつて貰ふのが至常である に留まつて貰ふのが至常である。

監能に努めひたすら能性を影響す を訴問し登市民の懇意を歩鑑して を訴問し登市民の懇意を歩鑑して

北陵の手観 ・ 北陵の手観 ・ 北陵の手観 ・ 北の上には他人に借りた着物類 に、北の上には他人に借りた着物類 に、北の上には他人に借りた着物類 に、北の上には他人に借りた着物類 に、大東病院に通 室所 で動端さしてもり、同業友人に汽車 の・ 北の上には他人に借りた着物類 に、大東病院に通 室所 で動端さして居る

東大東區長安街の料理店吉文方 酌婦のドロン 【奉天】

蔬菜品評會

和歌山の一るいれき専門築」療法最も信用された内服良素

达運賃一九九圓四五錢 1、10000倍 数一〇三、五四四 五、九八八圓五 七七一圓九〇 模造品アリ

印鈴圖 本日盤

||数二二四七個八一

型錄進呈

郷は許な 担は

青し薫に、縁は

になる

時候掘りるさころを傾がしてみまった種、色を敷腹した場合の科學

はい

黄と緑

黄は樹さなり終

りゆし平たくして沸り!

というにものから塚のさり、くとつたものから塚のさり、前の甘瀬(と上がて 水を切り、前の甘瀬(で上げて 水を切り、前の甘瀬(で上げて 水を切り、前の甘瀬(で上げて 東子 へられの三、四歳のお子 に四様づつ刺します。小豆錠

料に就ては幸ひにも大連及び東京は先づ材料は見つからない。火葬

黄と青 何の

何れし機立して

推議と材料にした季節回きの 機識の肥る秋、食然も暗礁に なり、材料も雙帯ですから、 なり、材料も雙帯ですから、

赤と黒ー

ながハッキリし

季節向のお八つ

て他よくいたとき ・ して、一ではり丸められる程度 ・ して、直で一寸心の脚子を作

パッグの若返り

たことは今も印象に残るの

0

職会館を訪れる人は割合に少い。 東大尉が入庫して、無心に満洲經 東大尉が入庫して、無心に満洲經 発料な獲り、昔が聊かの耽電に が管料な獲り、昔が聊かの耽電に

返してゐる本にジャン・

ンヌ」がわる。間書館

私は自治管理の場合わまりせ

和学の演家交戦を織してゐるころ音料を見るために、一萬朋近く

ō

めるこさがわかつた。

人は多いが、研究

道の西に向い

でで、最後の退却部隊に加いて軍隊輸送の係め支線鐵

秋窓雜藁

低脱なの

に難いてゐた。

震災日

大連市清水町三

田口

稔

の後にして

沙河の獣陣に、沙河右岸

若し他でぎたならば水をさし

赤と灰ー

赤はみえ灰は緑

赤と紅一目に描して響からのよい整考になります。

黄と紫

互に明瞭

ひる

た時大運輸館です。水な

根が出

の調和※

なすななと橙

紫江青

将に黄

器の病氣(銀管枝炎、肺炎等)動が充分に出來ない爲めに呼吸

合は肺臓が壓迫され呼吸運

チト無關小ぢや

黒と海――

黒がずんさ濃く

黒と薫り

票が資味な帯び

移がハツキリし

ないでせうかネ

さしてやりますと十日位で 日光の當らの場所に置き、 た七塚か十球位

寄せ合せるさ

水盤の底によく洗った形砂利な一

水盤を

の成ヒタくくまで水を入れまし数きつめ、この上に球を並べ クロッカスならば色の違った

日

水が多過ぎると味が水浸しに水な入れ、その上に味なのせま

によく洗ってクビリ切りの過ま

た頃、水栽培養液(フ

がつきませんから、概念才がのび

腹が勝思に突出て大連合成が悪い 共處が繰りへこんでゐる傷めにお

お用ひになったらクロッカス(花

ざに置いてやるさど

ざに置いてやるさドンドンが長しむに伸びたら日常りのよい窓際な

こどもの胸 餘りくぼんだ

はなほりばしまいかさ思

こ思つて野立

運動や懸毛を毎日数回のはなほりはしまいかさい

ますが、この運動は適當でせ

も結構です。

らべくが質した大きな球を選ぶこ

ければなりません。家が警察です水の際根ないためねやうに領なったりますが、機

・ 関部で腹部の分れ目は、普通腦で 原より極端に腕がへこんでぬます 原より極端に腕がへこんでぬます

水栽培

に適するのは

なに明るい場所に出し、非が一二ない明るい場所に出し、非が一二

家庭顧問

なかく一花が咲きません。水盤などは乗や根は出ますが水栽培では、チューリッ

さあ

お羽織

-▼▼ 一程のよさはこのコツで

お正月に花を見る 手輕な水栽培

されいな花が見られます。皆さん一つって、一句順には白味があります。今これから始めまでは父一種變つた面白味があります。今これから始めまでたらお正月頃には、一句明なが見られるなど、鉢栽培さは父一種變つた面

〇…関東で関西さでは羽織の丈も

方では八寸乃至八寸五分位短く

で、脚が居たらジッさ止つて充分で、脚が居たらジッさ止つて充分で、脚が居たらジッさ止つて充分で、脚が居たらジッさ止つて充分で、脚が居たらジッさ止って充分で、脚が居たらジッさ止って充分で、脚が居がの様が難の多い地には埋め大敵にる此の蜘蛛なはがったら大分対象。

近な機物が通るさスケ飛び蜘蛛に、この蓋の裏に居て

っないかりぐらは機がってしまふっ大連附

た蓋が

東の き云ふっ

できてゐるので一寸見つけにできてゐるので一寸見つけに

徘徊性の蜘蛛

金

久

蜘蛛

就

けます。 長橋村の大よけ、 大はつた方が恰好がされます。 なすつた方が恰好がされます。

五分詰めたら大

蜘蛛も大分多い。即ち駅傾性のくり歩き食物を描へて生活してゐる

の中の

すます。これはばまきかく う概にかけて郊外でかやや うである。

都なはらないで専問を走

疑惑を

お試み下さい 等)のごく少量な

界や根はごんごん大きくなり、二 なら響うやらない方が要金です。 かうして時々水を取かへるだけで かうして時々水を取かへるだけで があったではな水を取かへるだけで なら響うでもない方が要金です。 かっして時々水を取かへるだけで によって が過ぎるさ却て

機分達ふやうてすが、大機に羽織の繰り長いのは野暮くさく、 さいつてあまり織いのも終に過ぎて無品を失ふ傾きがあります ぎて無品を失ふ傾きがあります ですが、大墜お背の高い、そして割に着物な最くさいふのが普通 ですが、大墜お背の高い、そして割に着物な最く召す方ですと ケ月も經つと大きな書か持つやう ろしいでせう。 う。反對に背の低い

ければ差支ありませんが、それていらつしやる運動し過度でな

かういふ風に注意してゐられたり成人するに從つて胸部の隘姿の度が慰大輕減するから繰り心 配はありません。(池田嘉一郎) というにはればなりません。殊に何うにせればなりません。殊に何 運動なさらせ、抵抗力を増すや 層この貼に注意が肝要です。 なごが多いのふい

も云の「常に卵嚢を體につ

って 5

初めて催された 古面の展覽會

然に治るものでせうか。(その母)

野の帝室博物館で全國より由緒野の帝室博物館で全國より由緒でまた一度もそれ等の系統的展響山保存されてかるに指はらず もの様なかにぐも特に懸するくものを見る。はなぐもやあづちぐるのを見る。はなぐもやあづちぐるのを見る。はなぐもやあづちぐ

| と おたづれのお子様の腕の

これは胸脈の中央部にある

浴と運動を含せよ

戸外に出して日光

くほんで胸廓の形が變化とたも、水おち、の上方が極度に陷ち、水おちの上方が極度に陷ち、水おちの上方が極度に陥ち

あれば、又生れた時は普通でも胸膜の暗形さして現れることとのです。この漏斗胸は生れつき

は生れつき

等の際歌もありませんが、 弧度の窓歌もあります。 漏斗胸を持つてこもあります。 漏斗胸を持つてこもあります。 漏斗胸を持つている小児も程度の窓い場合は何のる小児も程度の窓い場合は何いる。

さまふ。自然界の便衣除さも云ふ ど色からてゐるので、昆虫は知らや緑色、黄色等からて花の色さ同 かにいいやさ云ふ。鱧の色に白色かにいいいではなどない。鱧の色に白色がないがいの様な管好で歩くのでかにの様な管好で歩くので

高橋月南選

主婦の會梅干にする

展古垂れてなるか態災

はらき小ぐも父はさむらいぐもさくり地の中に入つてゐるちぐもは子供鑑がさつて腹なかませるので子供鑑がさつて腹なかませるので 災の思ひ出

生機神育の本能が生物で最も強い。 に乗つて遊んでゐる。お互同士は グモの成雄背面

、然ら滅足な嫌かも知れない。然ら滅足な嫌から領する。可哀さ

主水建築雑誌(十月派)養行所主水建築雑誌(十月派)養行所をいれた、價六十銭 一日本(十月號)サカロフ 野工所東京市目県區自由ケビ 東江所東京市目県區自由ケビ 東江所東京市目県區自由ケビ

職球の友(十月駅)整行所東京 市荒川區日暮里三ノ七七二其社、 市荒川區日暮里三ノ七七二其社、

病床遺錄於多

外の話(柴田賢一)

財界魔閣帖養調

刑務所に要中野重治

西

學生とカフェー伊美院

て変尾なさげる変形が終る

果の中で

から秋の初め頃になつ

扶桑山飯北平料理 谷區代々木深町一六一三

・新利紹が のである。(ついく) 麹町區平河町一ノ五其社、大衆國威(十月號)發行所) いつて蜘蛛の原始的な

あの第一人 の第一人佛家

造豆工

(産品を)石坂洋次郎

を構き出す」 芹澤光治良

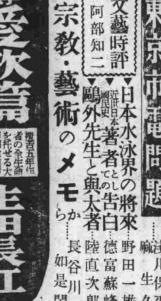
よりも思索、思索より

のは作器なり」といふ作響が、かなり、であつた。 無理なここであらうか。私は数 年前、京城の古本屋で独書の際、 をからまなり て求めた古本の中にも自署本はありない。東京や大速でも時々自署本は 出されて、触らくも文化といこさ三十年の謝義を聴いたこせが思い

鈴木茂三郎 床次と安達 本植村清二 多忠勝 設山中







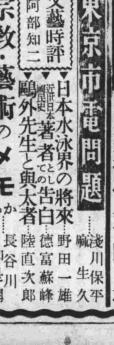
*網科學·唯物論…石原 純

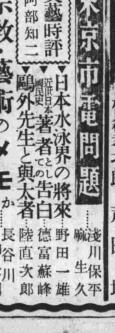
荷風とる

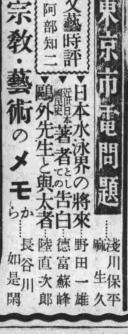
(作家の態度に就て語れ)上

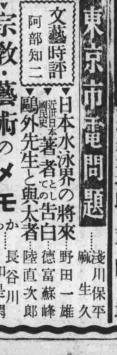
國步。

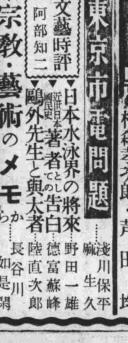












沿海露领買设論 ** 杉森孝次郎・芸術の本義と其の化

世界情報◆品類後の無事をなる。本教問題の基礎は、カラテックを教問題の基礎は、小岩井 浄 萬年則滿洲於韓人德承重 ク淨

在満機關の縺れ 北峰産 ■臨時議會風 雨强冷ぶ…逸名散史■臨時議會と政友會…馬場恒吾 第三帝國に滞在を表記

暴風警報と高潮 頂の大暴風

題

昌

すい

旗幟鮮明、堂及大衆と共に進軍

田上歯科

電話二大三六〇曲 個艦町五五(幼稚園前)

二十五百

Ξ

t

九

大手合戰論(十八局) 紫華 三段 樂谷

幸

ほにはるい

大連(六五〇KC) **午前の都**OO ラヂオ機操
OO ラヂオ機操
(六五〇KC) **午前の部**

山本松商店

製作の出來るグライダーに依

自ら進んで之れ

ザオ

日四七

(可認物便郵稱三第)

東非常時になり、空の守りは最もでれてなるのであります。 男

期待な以つて映脈助成してゐる謬 政府當 品。足只见。

黑計七十六手 黑計七十六手

株な保ち攻勢を採る心算の下に軽 れな保ち攻勢を採る心算の下に軽 が果存ば、六、八の國筋より聯

ちない」さ云つてゐます。ここほかイリク氏は「好きバイロットに」 飛行機操縦者養成の第一歩

りる事にも行きません。そこで斯く の如き飛行智能な興味の内に會様 の知き飛行智能な興味の内に會様 ても、多人数の養成な急に仕上げ

___ [8] ___

六・四〇(新ぶより)「満路講座」 高宮廃逸 る福助ダビ代理信令 季 天(MTBY)

〇(東京より)ニユー

薔薇色の道

の貞操

吉屋信子

界

掟

久米正雄

のや露

【面局の迄飛八四は圖】

其

类 香車

に出た、戦霊 に出た、戦霊 に出た、戦霊

淳

た事なき

特本選社

角

【其七】

彥吉

ラヂオ聴取者の キに限る一切の事項 □・○○ ニュース、職業紹介事 四・○○ ニュース、職業紹介事 1. 100 長唄(大連ご同じ) ・三〇 長唄(大連ご同じ) 大・四〇(奉天より)一十・〇〇(奉天より)一 助投料長組画亡 助之保健上防疫」民政部衛生司 関之保健上防疫」民政部衛生司 マネリシ月さん二、衛唱―良康隆子 マインシ月さん二、衛唱―見書子、インシ月 を「ロン十五夜シ月さん」四、衛唱 でロン十五夜シ月さん 四、衛唱 でロンナ五夜シ月さん 四、衛唱 でロンカのりの歌(ロン東郷さん― 双葉兄童音樂園、伴奏五十嵐悌 京 城(九〇〇KC) 〇〇 獨唱を齊唱一、獨唱 物語「獨裁大統領」稻 演藝(滿語) 野春院、 ニユース(漢語) ニユース(英語) 学天より)子供の時間 学天より)ニユース 東京より)ニユース 東京より)ニュース 社

回配本(實物書店)。御覽下さい なる朝

・ で で の な を を な 、 文

彩

大佛炎郎 牧逸馬 キニニ〇六〇香

小島政三郎

佐々木邦

子母澤書



長谷川仲

道中女仁義

つの眞珠

加藤武雄

萬五郎青春記

の泥靴

佐藤紅絲

野村胡労



菊池實

日像月像

卷

達事變

白井喬二

の暴風



脇疾患。--- ビオブルミンの處方

官公私立大病院 著名醫家御採用

ビオフェルミンは腸管內有害細菌を殺滅し、腸機能を調整 せこむるほか、澱粉及び蛋白質を消化する作用を有し、腸 内腐敗・異常醱酵・毒素吸収による中毒現象を豫防するを 以て、腸疾患の合理的藥劑として醫界に重用せらる。 〔用法〕 通常成人一日量0.9—3 近 (3—9錠) 小児量は成人量の%—%量,食後分三服用す。

〔適應症〕急性及慢性腸カタル、酸酵性下痢、 消化不良、鼓腸、常習便秘、小兒下痢、緑便、 脚氣、老衰病、神經衰弱等の治療と豫防。

發 賣 元 禁합 武田長兵衛 商店 大阪市道族町 製 造 元 紫啟 神戸衛生實驗所 蝉戸市二雲町



方面用所統憲談

に至りました。

會議 伊藤干太郎商會 大阪市遺修町三 近時肝油の加工品が如何にも効果のある様に宣傳せられて居り果のある様に宣傳せられて居り

の差がある爲めです。

何卒眼鏡肝油を服用せらるる機

お勸め致します。

眼鏡肝油は發賣以來五 整許さぬ優秀なる品質を許さぬ優秀なる品質を許さぬ優秀なる品質を許さぬ優秀なる品質を有して居ります。 一大場に其他荷くも保健と りるゝ各位は擧つて眼 りるゝ各位は擧つて眼 愈々眞價は輝~



高らかに秋のリズムは進む野に山に郷に都に郷でかるへの備へを当まます。 「大松し」に一下で、一角・「大松し」に「大松し、「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し、「大松し」に「大松しい」に「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し」に「大松し、「大松し」に「大松し、「大松しい」に「大松し、「大松しい」に「大松しい、「大松しい」に「大松しい、「大松し、「大松しい」に「大松し、「大松し、「大松しい」に「大松しい」に「大松し、「大松しい」に「大松し、「大松しい」に

吉林省長

熙洽氏護話

八里(満里)の小田山である、満郷られた、その一つかへ⊪澎洲國際られた、その一つかへ⊪澎洲國際られた、その一つかへ⊪澎洲國際の行業を順く古林登場内南方

及その二十一年高宗敬 ころから長い間白い山さいふ意 ・ 八年標単東奈が概築 季を通じて白雲不識さいはれた ・ 年間 戯雨に襲されてる 長田山は古来より最も高い山、

州國皇帝陛下の吉林河巡狩

林省長門治氏は左の如く

へ奉るに際し二十三日

田緒深き小白山

土峰山神の

H

爽

日滿

新京の百粁電波

來一日から開通的

満洲國へ 一歩前進か

であるは、エストニア國被代領事

でのさころで易に主眼を置いて下のさころで易に主眼を置いて トメントばこゝ一週間位の間に は到達するこさゝ思ひますから は可したださい、思ひますから

洲國特鹿 高級に離つてゐた大の秋。 連それ以来等内通七番地に居を構 連それ以来等内通七番地に居を構

義金一萬五千

本園にある四大新聞の通信真さして新領事さなるべきヘルマン氏は

軍人から

下士館以下は俸給の百分の一、 精金を翻収するこさにし翻収額は 下士館以下は俸給の百分の一、 際事に対し自要的に所感部下より義 である。これに一個収額は

第四軍管局司令官于琛徽 が好ければ二 號大阪着

大野野戦して発快した戦へ闘がき を教野戦して発快した戦へ闘がき では、人な解解が自宅で高せる 民間療法全集のの美术を婦人の

密輸犯捕はる

金塊二百萬圓

より三日まで左のプログラムで ◆第一日 午前三時二十分十一月一日駆行されるが、一日 職定

午後六時三十分

名を拉致せる

新省公署の官側々定の親輔さる

新省官制に開し

遠藤廳長放送

頭目を逮捕 臧氏拉致の

は、大阪特徽ニ十二日登)上版さ日で、本における金塊構場の際きか独ってるたさんだ日支線力の被として神戸地方幾地所に送られて来た、お寝は元上衛の資産染物の変更変物が数名含まれてゐる。 25日→29日の五日間

をなすこさになった

幅

大連市北大山通一四流線電泉浴舎 りり、うつかり外出ら出来の程であ りたが、二十二日午前八時から午 後四時までに又々何都か十七號室 中村久利(こ)月の都屋に庭前を破 中村久利(こ)月の都屋に庭前を破 のて懐入、個の掘斗その他を限な でも のて権のであり合せた理金三十 でも のでしたが、二十二日午前八時から午

ての全店を擧げての大蔵ざらへ 全店斷然面目一新の新安値の上に御買德品山積の大見切提供

一階特別奉仕 純毛シヤツ・ネクタイ・靴下・中折帽子

州入・ハンドバッグ・羽織組帶メ烈合 草履・子供靴・スリツバ・トランク等各種大見切

特別季仕 銘曲・錦紗基儒神・錦紗小紋・コート・白・紅節絹均一大見切 ・ ****・菓子墨館条種大見切 女具セット・顧袋其他各種特別提供

響油・蜂ブドー酒・ほうち茶・きんつば・鮭粕漬・白菜漬

かまぼご・からわ・まぐろ刺身・よせなべ等各種特別提供

渡具類の大見切 其の一例 銘仙掛浦剣 8.00 毛布の特別大提供 其の一例 純毛々布 11.00 家具類の大見切 其の一例 食卓 1.80より トーブの宣傳特責 RI

せんとする痛快なニュースがある。満洲帝國の玄關たる大連に新たに領事館を設置して大いに満洲帝國との貿易ために喜ぶべき現象とされてゐるが最近エストニア及びチエッコスロヴアキの急速な整備發展に伴ひ諸外國が漸く親善の色を示しつしあることは滿洲帝 日本政府の承認を待つのみ

耐食油アルフレッド・ルーテ、大連山縣通り五十四番地ル 領事がエストニアの名巻 でうかその點についてはまだは 一テ酸金に赤へば次の如く語る かれが國が満洲帝國を承認するか 佳木斯移民の 後接會を設立

大 チェッコ・スロヴァ 岡工事教授(宮敷) を養き式を待つて各方面に右連合 たいめで、近々懸行さるべき後援 たいめで、近々懸行さるべき後援

兩地間に直通旅客列車を配置す 、本語に連合列車一往復、本天、 本語迷に一泊を要するため二十 一大時間を費したが今回の改正で 五、本山線の列車增養(錦脈、山 分に短縮される) 分に短縮される)

りも好

成績

北の親人の勝りさして北安・戦はのの在世邦人は窓に千五百を突破し

會側會で意々其情化と近く

北安神社

建立ご決る

の試運轉終る

が職定されてゐる が職定されてゐる が職定されてゐる

梶田師匠施茶

日から實

に午後三時から野さなり奉天の初に午後三時から野さなり奉天の初に午後三時から野さなり本天の初に午さ共

昨年よ

9

十五日早

本格的寒さ

橋北寮に盗難

初

五分間停車後奉天に配。程橋に於ては土壌定態り午间十時五分と引或ひは総路の際野な一路快心のスと引或ひは総路の際が一路快心のスと引或ひは総路の

大学を行び集定より大学を行び集定より大学を行び集定より大学を開催した。 一般では、一部大学により大学を開催した。 一般では、一部大学により大学により大学を発展なくされて大学により大学により大学により大学により大学を表示。

青匪を撃退

來の人々に

黄色いウインクを往

近代的な味噌を料

チエツコ

瀬建町 麓 22283 常盤橋 麓 25044 沙河口 龍 2540

命の神歌につける

初秋の番り豊かな ルビン凱旋

東るYMCA 動力時より代見歴大連一中室 である、こさ、なつた、第一 である、こさ、なった、第一 であるとなった。 なった、第一

十八日から

る廻出ツボツボ

候補の鉢合せであり

家 庭 用 和 家 具 一緒ケタハスレ品 ・ 低 呼 吸 厳 鏡 礼 ビ 敷 物 指 ツ 等 晩 紙 臺 喬











コダック會社

行

洋

大連市山縣通り一八一

南満洲電氣株式會社

イーストマン

所業營博下森 阪大 舖本丹仁藥備常

社會藥賣本日 光 理代總洲滿丹仁